



長崎大学脳神経外科学教室

# 年 報

2017 (平成29)





長崎大学脳神経外科学教室

年 報

2017 (平成29)





長崎大学脳神経外科同門会忘年会 (2017.12.23 於 ザ・ホテル長崎)



2017年御用納め (2017.12.28 於 長崎大学脳神経外科医局)

# 1. はじめに





# 1. はじめに

長崎大学脳神経外科

教授 松尾孝之

長崎大学医学部で学んだもの、働くものにとって「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のもではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい」と言うポンペの言葉を一度は耳にしたものだと思う。ポンペの残した多くの言葉の中で長崎大学医学部が伝統的に選んできたものである。その言葉に何の疑問もなく卒後30年を過ごしてきたが、「働き方改革」についての話題が多く場の語られる昨今において、この言葉には、考えさせられる事が多い。

我々脳外科教室員の多くにとってポンペの言葉は、共感出来るものであり、現在も、ポンペの言葉とは大きくは異ならない立ち位置で、日々の診療に携わり技量を磨いてきている。すなわち、我々の仕事への向き合い方と、この言葉には多くの共通点がある。脳神経外科は基本診療科であり、手術が全てではない。しかし多くは、熟練した術者になる事を目標とし、脳神経外科へ入局している。一人の患者が手術に至るには、患者やその家族に寄り添う時間や、知識や技量を磨く時間、また術後の管理から長期的なcareまで、一人の患者に多くの時間を割き、お互いの信頼関係を構築する事が必要であり、一人一人に対して術者としての責任を果たす義務がある事は、今後も変わらないのだと思う。また、夜も遅くまで手術する事や、急患の対応にやりがいを感じる先生も多い。この環境はまさに働き方改革からは逆行するものである。いわゆるブラック企業の代表的な存在であるとも言える。

脳神経外科にとっての働き方改革には多くの課題がある事は明らかであるが、従来のスタンスを変えることなく、少しでも働き方改革に繋がるものを模索し、大学内では、主治医制からグループ制へ、朝のカンファレンス開始時間の変更、当直ルールの変更と出来ることから実行に移している。今後は、教室の先生たちがローテーションする病院全てを含め、同様な改革が求められる。さらに、働き方改革も考慮した労働環境の下で、新しい専門医制度、細分化した認定医、技術認定医全ての教育条件を満たしたプログラムを実践し、より良い医療を地域に提供していく為に、関連病院全体での一つのプログラムの構築と、改革への取り組みが必要である。

従来個々の関連病院が脳神経外科診療の全ての分野を担い、近隣の病院と切磋琢磨して、医療の質を上げてきた。しかし、県内の年間手術症例数は、今後も2500例程度で大きくは変わらず、そこで働く医局員の数も微増はすれ、ほぼ横ばい状態の中で、質の高い教育と診療、更には労働環境の整備を考えると、県下の病院を1つのグループと考え、役割を分担し、無駄な労力を省いた運営を検討することが必要であり、女性医師の活躍の場を確保する事も大切である。幸い脳神経外科は、多様な働き方の選択が可能な診療科でもあり、それぞれのライフステージに合わせ働き方が出来る環境整備は可能である。今年から年二回行うこととした関連病院会議は、情報の共有と関連病院一体となった今後の改革に役立ってくれるものと期待する。

# 目 次

1. はじめに	
2. 現況報告（2018年4月現在）・業績（2017年1月～12月）	
長崎大学脳神経外科	1
長崎労災病院	28
佐世保市立総合医療センター	32
国立病院機構長崎医療センター	40
長崎県島原病院	52
済生会長崎病院	58
長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター	61
十善会病院	67
長崎みなとメディカルセンター	70
宮崎病院	74
小波瀬病院	76
福岡青洲会病院	79
周南記念病院	82
公立みつぎ総合病院	88
北九州市立八幡病院	90
石坂脳神経外科	93
安永脳神経外科	95
井上脳神経外科	98
陣の内脳神経外科クリニック	99
三宅脳神経外科医院	101
伊崎脳神経外科・内科	103
古賀脳神経外科	105
桑原脳神経外科医院	106
日浦病院	107
山鹿クリニック	109
つつみ脳神経外科クリニック	110
ひらた脳神経外科クリニック	111
山下脳神経外科クリニック	112
3. 研究会	
①長崎障害者支援再生医療研究会	113
②長崎間脳下垂体疾患カンファレンス	114
③長崎脳神経疾患治療研究会	115
④長崎脳腫瘍研究会 2017	117
⑤長崎脳血管内治療研究会	118

⑥長崎ニューロイメージングカンファレンス	118
⑦長崎脳疾患研究会	119
⑧長崎県てんかん診療ネットワーク学術講演会	119
⑨てんかん診療セミナー	120
⑩長崎てんかん治療セミナー	120
⑪脳神経外科Expert Meeting	121
⑫長崎脳神経外科フォーラム	122
⑬長崎くも膜下出血研究会・長崎脳血管内治療研究会	123
⑭脳血管障害UP DATE セミナー	123
⑮長崎脳神経外科研究会	124
4. 先輩便り	129
安永暁生、三宅仁志	
5. 医局員便り	131
平尾朋仁	
6. 長崎大学脳神経外科の現況	133
7. 新入局員紹介	135
岡村宗晃、謝 昂	

2. 現 況 報 告 (2018年4月現在)  
業 績 (2017年1月~12月)



## 2. 現況報告(2018年4月現在)・業績(2017年1月～12月)

### 長崎大学脳神経外科

(〒852-8501 長崎市坂本1-7-1 診療科長 松尾孝之)

#### 【現況報告】



新しいスクラブ

長崎大学医局の現況をご報告します。臨床においては松永裕希先生、大園恵介先生、古賀美由紀先生、岡村宗晃先生を中心に、昨年はじめた腫瘍グループ、血管障害グループ、小児・脊髄グループで、皆が協力して業務をこなしています。2017年の手術件数は439件になりました。松永先生、岡村先生は前任地の佐世保市総合医療センターでも一緒に働いており、よい師弟関係で頑張っています。大園先生は病棟内でもひととき存在感を示していますが、レクリエーション係としての実力も卓越していますので、今年の忘年会も期待しています。前回はトランプ大統領になりきっていましたが、今年はどうでしょう。古賀先生は保育園の送り迎えをしながらの勤務です。無理のない範囲で少しずつ仕事に慣れて欲しいと思います。

また昨今の働き方改革を長崎大学脳神経外科でも取り入れ、当直体制を2人当直から1人当直(1人はオンコール)に変更しました。この体制により個人の当直回数が軽減されるようになりました。残って仕事をする先生、早く帰ってプライベートに使う先生いろいろありますが、それぞれにとって充実した時間が使えることが出来ればよいと思います。

脳神経外科のスクラブも新調しました。杉川先生、高平先生のデザインで格好よいスクラブになりました。やはり見た目は大事です。皆の志気が一層あがったものと思います。

学生実習は従来のポリクリ(4、5年生が1週間)に加え、クリクラ(5、6年生が1ヶ月間)、更にはドイツのヴィルツブルグ大学からの実習生が1ヶ月交代で脳神経外科を訪問

しており、春は学生で医局はごった返しています。脳神経外科に興味を持っている学生さんは今も変わりなく多く、スタッフの講義や懇親会を充実させて取り組んでいます。今年度のククラは脳神経外科に人気が集まり、希望に漏れる学生さんも多く見られました。さらに5月からは中国からの留学生が脳神経外科に1年間留学する予定です。

さて、今年の医局旅行は波佐見、嬉野に1泊2日のバス旅行を行いました。波佐見ではしだれ桜がちょうど満開のときで、皆さん癒やされたことと思います。宿泊は嬉野温泉にある大正屋でした。同門会長の三宅先生から3Mの差し入れ（森伊蔵、魔王、村尾）があり、皆で堪能しました。2次会ではカラオケ大会、3次会は将棋大会と、深夜まで盛り上がりました。翌朝はイチゴ狩りに行き、開園と同時に美味しそうなイチゴを競って食べました。今後も医局旅行は継続していきたいと思います。関連病院の先生方にも案内しておりますので奮ってご参加下さい。

(記 堀江信貴)



ヴィルツブルグ大学からの実習生が贈ってくれた脳外科スタッフの似顔絵 (誰が誰か分かりますか?)



医局旅行 (波佐見、嬉野)



## 【業績】

## (1) 医師数 20 (専門医 15)

松尾孝之、案田岳夫、角田圭司、鎌田健作、出雲 剛、堀江信貴、吉田光一、  
 氏福健太、諸藤陽一、馬場史郎、梅野哲也、定方英作、藤本隆史、伊木勇輔、  
 佐藤 慧、古賀美由紀、高平良太郎、柚川知香、  
 高島英昭 (リハビリテーション部)、平尾朋仁 (救命センター)

## (2) 病床数 38

## (3) 入院症例数 541

## (4) 手術症例数 439

brain tumor	92
pituitary adenoma	17
meningioma	15
glioma	25
paranglioma	1
malignant lymphoma	7
schwannoma	4
metastatic brain tumor	7
craniopharyngioma	4
others	12
ruptured aneurysm (craniotomy)	33
ICA	7
MCA	10
Acom	12
ACA	3
BA	1
multiple	0
unruptured aneurysm (craniotomy)	36
ICA	11
AcomA	8
ACA	3
MCA	5
BA	2
IC-PC	7
multiple	0
hypertensive ICH	30

	craniotomy	23	
	CT stereotactic	2	
	endoscopic	5	
moyamoya disease			12
(STA-MCA anastomosis with EMS)			
ICA steno-occlusion (STA-MCA anastomosis)			9
ICA stenosis (carotid endarterectomy)			24
AVM			4 (spinal AVM 3)
dAVF			1
others			10
spinal lesion			31
tumor	intradural extramedullary	1	
	extradural	1	
cervical	C1-2 fixation	3	
	ACDF	2	
	laminoplasty	6	
	epidural hematoma	1	
lumbar	decompression	8	
	PLIF	1	
chiari Type I	FMD	3	
spina bifida	myeloschsis	1	
	lipoma	4	
head trauma			47
acute epidural hematoma		2	
acute subdural hematoma		11	
chronic subdural hematoma		32	
intracerebral hematoma		2	
MVD			2
shunt			41
endoscopic third ventriculostomy			1
ventricular drainage			25
decompressive craniotomy			16
cranioplasty			18
brain abscess			1
others			6

(5) 定位の放射線治療症例数	43	
stereotactic radiosurgery(SRS)	12	
metastatic brain tumor	6	
vestibular schwannoma	3	
glioma	1	
meningioma	2	
intensity modulated radiation therapy(IMRT)	31	
glioma	26	
meningioma	2	
pituitary adenoma	2	
metastatic brain tumor	1	
 (6) 血管内手術症例数	135	
aneurysm (SAH)	20 (SAH 12)	
intra-aneurysmal	18 (10)	
parent artery occlusion	2 (2)	
AVM	3 (Onyx3)	
brain	3	
spine	0	
AVF	11	
TAE	9	
TVE	2	
ICA stenosis	2	
stent	2	
subclavian /vertebral artery stenosis	1	
stent	1	
tumor	8	
thrombolysis/PTA/retrieve	42	
vasospasm	19	
trauma	2	
BOT	4	
intraoperative angiography	3 (Hybrid OR 3)	
others	20	
 (7) 剖検数	0	

(8) 論文

Enokizono M, Sato N, Morikawa M, Kimura Y, Sugiyama A, Maekawa T, Sone D, Takewaki D, Okamoto T, Takahashi Y, Horie N, Matsuo T: “Black butterfly” sign on T2\*-weighted and susceptibility-weighted imaging: A novel finding of chronic venous congestion of the brain stem and spinal cord associated with dural arteriovenous fistulas. *J Neurol Sci* 379: 64-68, 2017

Yamaguchi S, Horie N, Morofuji Y, Satoh K, Suyama K: Rapid Recanalization Using TrevoProVue through a 4.2 Fr Catheter without a Guiding Catheter via Transbrachial Approach: A Case Report. *NMC Case Rep J* 4(4):97-99, 2017

Okanari K, Otsubo H, Kouzmitcheva E, Rangrej J, Baba S, Ochi A, Okanishi T, Homma Y, Nita DA, Donner EJ: Ictal Symmetric Tonic Extension Posturing and Postictal Generalized EEG Suppression Arising From Sleep in Children With Epilepsy. *Pediatr Neurol* 76: 54-59, 2017

Debata A, Yoshida K, Ujifuku K, Yasui H, Kamada K, Niino D, Matsuo T: Hyperglycemia is associated with poor survival in primary central nervous system lymphoma patients. *Tumori* 103(3): 272-278, 2017

Horie N: [Part1. Optimal Cell Sources], Chapter3 : Neural Stem Cells/Neural Progenitor Cells. *Cell therapy against cerebral stroke*. Springer Japan (Tokyo): pp.27-38, 2017

Morofuji Y, Horie N, Hayashi K, Izumo T, Matsuo T: Current management for vasospasm following subarachnoid hemorrhage: endovascular option. *Neurovascular Event after Subarachnoid Hemorrhage*. Narnia Inc. (Tokyo) : pp.141-144, 2017

Morofuji Y, Fujimoto T, Watanabe D, Nakagawa S, Ujifuku K, Horie N, Izumo T, Anda T, Matsuo T:[ Abstracts from the 20th International Symposium on Signal Transduction at the Blood-Brain Barriers], A41 In vitro analysis to evaluate brain metastatic potential of cancer cells from human surgical specimens-preliminary report. *Fluids and Barriers of the CNS* 2017, 14(Supp 2):27, 2017

Horie N, Baba M, Kawada K, Matsunaga Y, Sadakata E, Morofuji Y, Izumo T, Morikawa M, Anda T, Matsuo T.: A Case of Moyamoya Disease Associated with SAPHO Syndrome. *No Shinkei Geka* 45(6):533-539, 2017

出端亜由美、吉田光一、松下武矢、藤本剛丈、淡野義長、林 拓男、栗原正紀、松尾孝之: Japan Rehabilitation Assistance Team(JRAT)の活動において避難所コミュニティは重要であった. *JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION* 26(5):526-529, 2017

氏福健太、松尾孝之: 定位放射線治療の適応. CLINICAL NEUROSCIENCE 35(4):483-486, 2017

松藤 寛、塩崎絵里、中武康隆、吉田光一、鎌田健作、松尾孝之: 非小細胞肺癌切除術・化学療法後に出血を繰り返しながら極めて緩徐に増大した転移性脳腫瘍の1例. Neurological Surgery 45(4): 339-344, 2017

出雲 剛、諸藤陽一、藤本 隆、定方英作、日宇 健、堀江信貴、林 健太郎、案田岳夫、立石洋平、辻野 彰、松尾孝之、永田 泉: 長崎大学における頸動脈内膜剥離術の基本手技. Neurosurgical Emergency 22(2): 93-96, 2017

角田圭司: 急性頸部痛で発症した結晶誘発性関節炎症例の検討. 日本脊髄障害医学会雑誌30 (1) : 128-129, 2017

角田圭司、松尾孝之: 脊髄髄内腫瘍摘出術後の椎弓再建方法の変遷. Journal of Spine Research 8 (7) :1268-1272, 2017

本田英一郎、田中達也、角田圭司、宮原孝寛: L5/S1の椎間孔外ヘルニアの診断、治療の問題点. 日本脊髄障害医学会雑誌 30 (1) : 200-202, 2017

堀江信貴: International Stroke Conference 2017 (ISC2017) in Houston 参加報告. 脳神経外科速報 27(4): 416-425, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文] 脳神経外科速報 27(4): 407, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文] 脳神経外科速報 27(4): 408, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文] 脳神経外科速報 27(6): 629, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文] 脳神経外科速報 27(6): 630, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文] 脳神経外科速報 27(8): 850, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文] 脳神経外科速報 27(8): 851, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文]  
脳神経外科速報 27(10): 1067, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文]  
脳神経外科速報 27(10): 1068, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文]  
脳神経外科速報 27(12): 1273, 2017

堀江信貴: Journal in Journal 脳卒中速報 Acute Stroke Therapy; [脳卒中治療医必読の海外論文]  
脳神経外科速報 27(12): 1274, 2017

井手口玲子、松尾孝之、石丸英樹:【4. 画像診断】、[腫瘍性疾患] 下垂体神経膠腫(pituitary glioma). 『下垂体の画像診断』メジカルビュー社（東京）: pp.151-154, 2017

堀江信貴、出雲 剛:【3. 外科的治療①: 頸動脈内膜剥離術 (CEA)】[基本手技のCEA] シェ  
ントの適応と手技.『パーフェクトマスター頸動脈狭窄症』メジカルビュー社（東京）: pp.  
175-181, 2017

堀江信貴、出雲 剛:【3. 外科的治療①: 頸動脈内膜剥離術 (CEA)】[CEAの周術期管理、  
合併症と対策] CEA後の再狭窄とその治療.『パーフェクトマスター頸動脈狭窄症』メジカル  
ビュー社（東京）: pp. 268-272, 2017

松尾孝之: 眼と関わる脳腫瘍. 眼科臨床紀要 10(7): 609, 2017

## (9) 学会発表

我々の頭蓋咽頭腫の治療方針

松尾孝之

第16回神奈川脳神経外科集談会 (2017.2.11、横浜市)

最新の脳腫瘍治療

松尾孝之

第46回長崎労災フォーラム (2017.2.27、佐世保市)

第三脳室前半部腫瘍の摘出術【ビデオ教育セミナー】【シンポジウム】

松尾孝之

第37回日本脳神経外科コンgres総会 (2017.5.11-14、横浜市)

傍鞍部腫瘍に対する手術アプローチ

松尾孝之

第37回宮崎脳腫瘍研究会（2017.6.9、宮崎市）

地域医療における脳神経外科の役割～脳卒中医療から脳神経外科手術まで～

松尾孝之

JCHO諫早総合病院脳疾患センター開設記念研修会（2017.6.27、諫早市）

傍鞍部腫瘍に対する治療戦略

松尾孝之

山形脳腫瘍研究会（2017.7.21、山形市）

Unilateral Basal interhemispheric approach through the sphenoid sinus to retrochiasmatic and intrasellar craniopharyngiomas

T. Matsuo, K. Kamada, K. Yoshida, K. Ujifuku, S. Baba

The European Association of Neurosurgical Societies 2017, (2017.10.1-5, Venice, Italy,)

傍鞍部腫瘍に対する手術アプローチ

松尾孝之

第29回脳神経外科学臨床講座（2017.10.28、東京都）

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血患者の治療後早期の再出血

案田岳夫、上之郷真木雄、諸藤陽一、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之

日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

長崎大学脳神経外科クラブセンター治験登録状況

案田岳夫、伊木勇輔、佐藤 慧、諸藤陽一、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之

Clazosentan九州エリア福岡研究会（2017.12.2、福岡市）

長崎くも膜下出血研究会新プロトコルについて

案田岳夫、上之郷真木雄、諸藤陽一、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之

第36回長崎くも膜下出血研究会（2017.12.19、長崎市）

急性後頸部痛で発症した結晶誘発性関節炎

角田圭司、福嶋政昭、安永暁生、松尾孝之

第16回NEURO Spinalセミナー（2017.2.25、和歌山市）

著明な髄内輝度変化を伴う頸髄症 (?) —このような症例をどう考えるか—

角田圭司、松尾孝之

第8回九州・山口ニューロスパイン研究会 (2017.4.8、福岡市)

低位脊髄円錐を認めず潜在性係留脊髄症候群として手術を行った症例に関する検討

角田圭司、吉田光一、松尾孝之、木原敏晴

第45回日本小児神経外科学会 (2017.6.2-3、神戸市)

特発性頸髄硬膜外血腫の診断と治療

角田圭司、松尾孝之、立石洋平、辻野 彰

第32回日本脊髄外科学会 (2017.6.8-9、大阪市)

脳梗塞と診断されrt-PA療法が施行された頸髄硬膜外血腫の2手術例

角田圭司、松尾孝之

第16回京都鴨川脊椎手術研究会 (2017.6.24、京都市)

胸髄硬膜内髄外腫瘍の1例

角田圭司、松尾孝之、安倍邦子

第3回美ら海セミナー (2017.7.16、沖縄県)

画像上著明な石灰化像を呈した胸髄髄膜腫の3症例

角田圭司、定方英作、松尾孝之、福岡順也

第24回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 (2017.9.22-23、新潟市)

著明な髄内輝度変化を伴った胸椎硬膜内髄外capillary hemangiomaの1例

角田圭司、松尾孝之

第24回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 (2017.9.22-23、新潟市)

潜在性係留脊髄症候群—手術加療を行った4例の検討—

角田圭司、吉田光一、松尾孝之、木原敏晴

日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

頸椎硬膜外ブロック後に生じた硬膜外血腫の1例

角田圭司、松尾孝之

第52回日本脊髄障害医学会 (2017.11.16-17、千葉市)

診断に苦慮したアトピー性脊髄炎の1例

角田圭司、松尾孝之

第52回日本脊髄障害医学会 (2017.11.16-17、千葉市)



長崎大学における頸動脈内膜剥離術の基本手技【ビデオシンポジウム「脳血管障害に対する手術：達人の技に学ぶ」】

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

第22回日本脳神経外科救急学会（2017.2.3-4、高松市）

コイル塞栓術後再発脳動脈瘤に対する開頭根治術【シンポジウム 高難度病変2「大型・複雑脳動脈瘤」】

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

第46回日本脳卒中の外科学会学術集会（2017.3.16-19、大阪市）

長崎大学における頸動脈内膜剥離術の基本手技【モーニングビデオセッション 3「ビデオ基本編 CEA」】

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

第46回日本脳卒中の外科学会学術集会（2017.3.16-19、大阪市）

治療に難渋した神経原性高血圧症の一例

出雲 剛、藤本隆史、諸藤陽一、堀江信貴、松尾孝之、永田 泉

第1回Hybrid Neurosurgery研究会（2017.4.1、東京都）

血管内治療時代における頸動脈内膜剥離術の基本手技

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

第26回脳神経外科手術と機器学会(CNTT2017)（2017.4.14-15、甲府市）

コイル塞栓術後再発脳動脈瘤に対する開頭根治術【シンポジウム9：脳血管障害：血管内治療時代における外科治療の役割】

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

第26回脳神経外科手術と機器学会(CNTT2017)（2017.4.14-15、甲府市）

コイル塞栓術後再発脳動脈瘤に対する開頭根治術【依頼講演】

出雲 剛

第10回脳血管手術研究会（2017.4.23、名古屋市）

頸動脈内膜剥離術【依頼講演】

出雲 剛

第10回脳血管手術研究会（2017.4.23、名古屋市）

Onyx塞栓術の脳動静脈奇形治療における有用性の検討～直達術者の観点から  
出雲 剛、堀江信貴、松本康史、藤本隆史、定方英作、諸藤陽一、広瀬 誠、林 健太郎、  
北川直毅、徳永能治、永田 泉、松尾孝之  
第6回Hybrid Neurosurgery研究会 (2017.9.2、横浜市)

コイル塞栓術後再発脳動脈瘤に対する開頭根治術の手術戦略と治療成績  
出雲 剛、松尾孝之、永田 泉  
日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

Moyamoya disease Postoperative hyperperfusion syndrome 【invited faculty】  
Tsuyoshi Izumo  
WFNS neurosurgical anatomy vascular course (2017.10.27、Nagoya)

Surgical treatment for recurrent aneurysms after initial endovascular coil embolization 【invited  
faculty】  
Tsuyoshi Izumo  
WFNS neurosurgical anatomy vascular course (2017.10.27、Nagoya)

The Orthodox Techniques of Cerebrovascular Aneurysm Clipping Surgery and Selection Method of  
Clip Type 【Luncheon seminar, invited speaker】  
Tsuyoshi Izumo  
13th International Conference on Cerebrovascular Surgery (2017.10.28-29、Nagoya)

4KハイビジョンシステムExoscopeを用いた頸動脈内膜剥離術  
出雲 剛、鎌田健作、松尾孝之  
第24回日本神経内視鏡学会 (2017.11.9-10、横浜市)

Onyx塞栓術の脳動静脈奇形治療における有用性の検討～直達術者の観点から 【シンポジウ  
ム6「脳動静脈奇形塞栓術の知行合一」】  
出雲 剛、堀江信貴、松本康史、藤本隆史、定方英作、諸藤陽一、広瀬 誠、林 健太郎、  
北川直毅、徳永能治、永田 泉、松尾孝之  
第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2017.11.23-25、東京都)

The orthodox techniques of combined bypass surgery for Cerebrovascular Moyamoya Disease.  
【invited faculty】  
Tsuyoshi Izumo  
WFNS Foundation ACNS Clinical Neurosurgical Seminar (2017.12.1、Mombasa, Kenya)

Surgical Management of Complex Aneurysm using Skull Base technique. 【invited faculty】

Tsuyoshi Izumo

WFNS Foundation ACNS Clinical Neurosurgical Seminar (2017.12.1、Mombasa, Kenya)

The Orthodox Techniques of Carotid Endarterectomy. 【invited faculty】

Tsuyoshi Izumo

WFNS Foundation HANOI LIVE SURGERY SEMINAR (2017.12.15-17、Hanoi, Vietnam)

Surgical Management of Recurrent Cerebral Aneurysms After Initial Coil Embolization. 【invited faculty】

Tsuyoshi Izumo

WFNS Foundation HANOI LIVE SURGERY SEMINAR (2017.12.15-17、Hanoi, Vietnam)

本邦における安全な抗凝固療法～脳神経外科医の立場から～

出雲 剛

脳血管障害 up date セミナー (2017.12.21、長崎市)

4K-2D神経内視鏡および3D神経内視鏡併用手術の初期経験

鎌田健作、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、吉田光一、松尾孝之

第22回日本脳腫瘍の外科学会 (2017.9.8-9、鹿児島市)

Usefulness of skull-mounted frameless image-guided stereotactic brain biopsy under electromagnetic surgical navigation system

Kensaku Kamada, Shiro Baba, Kenta Ujifuku, Kouich Yoshida, Takayuki Mastuo

the 17th European Congress of Neurosurgery, (2017.10.1-5、Venice, Italy)

磁場式neuronavigation systemと頭蓋骨固定式生検針固定器を用いた定位脳生検の経験

鎌田健作、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、吉田光一、松尾孝之

日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

4K-2D神経内視鏡および3D神経内視鏡併用手術の使用経験

鎌田健作、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、吉田光一、松尾孝之

第24回日本神経内視鏡学会 (2017.11.9-10、横浜市)

磁場式ナビゲーションと頭蓋骨固定式生検針固定器を用いた定位脳生検

鎌田健作、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、吉田光一、松尾孝之

第35回日本脳腫瘍学会学術集会 (2017.11.26-28、高松市)

ラット脳梗塞モデルにおける多能性幹細胞由来血管内皮細胞とペリサイト細胞移植の効果  
巽 理恵、前田 肇、中川慎介、堀江信貴、有賀 純  
第90回日本薬理学会年会 (2017.3.15-17、長崎)

Impact of Mechanical Thrombectomy Device on the Thrombus Histology in Acute Embolic Stroke  
Nobutaka Horie, Yoichi Morofuji, Eisaku Sadakata, Yohei Tateishi, Tsuyoshi Izumo, Minoru  
Morikawa, Akira Tsujino, Takayuki Matsuo  
International Stroke Conference 2017 (2017.2.22-24, Houston, Texas, USA.)

虚血性脳疾患(脳梗塞)の間葉系幹細胞移植治療【依頼講演】  
堀江信貴、西田教行、佐藤克也、松尾孝之  
第122回日本解剖学会総会・全国学術集会シンポジウム神経疾患の分子基盤 (2017.3.28-30、  
長崎)

脳梗塞に対する経動脈的幹細胞移植 (血管内治療) は有用なdelivery routeとなりうるか-現  
状と将来性-【依頼講演】  
堀江信貴  
第8回日本ニューロリハビリテーション学会 (2017.4.22、富山市)

私のこだわり／カテーテル、マイクロシェイピング【依頼講演】  
堀江信貴  
九州脳血管内治療研究会 (2017.5.20、福岡)

脳神経外科治療の最先端 (脳血管内手術と再生医療)【依頼講演】  
堀江信貴  
長崎県医師会生涯教育講演会 (2017.7.11、長崎)

LVISを用いた治療困難な脳動脈瘤に対する血管内手術【依頼講演】  
堀江信貴  
テルモ血管内治療技術検討会 (2017.7.21、熊本)

脳梗塞に対する血管内手術【講師】  
堀江信貴  
脳血管内治療ブラッシュアップセミナー・ティーチングコース2017 (2017.8.4-5、神戸市)

Codman SPECTRAの初期経験【依頼講演】  
堀江信貴  
J&J エキスパートサミット (2017.9.19-20、新潟)

一筋では行かない血栓回収術にどう立ち向かうか？【依頼講演】

堀江信貴

Discussion Meeting on Trevo Technical Tips in Fukuoka (2017.9.22、福岡市)

急性期脳動脈閉塞における穿通枝に着目した適応範囲と治療成績

堀江信貴、定方英作、金本 正、諸藤陽一、出雲 剛、立石洋平、森川 実、案田岳夫、辻野 彰、松尾孝之

日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

Factors of Rebleeding After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage Differ Depending on Clipping and Coiling

Nobutaka Horie, Shuntaro Sato, Makio Kaminogo, Eisaku Sadakata, Tsuyoshi Izumo, Yoichi Morofuji, Takayuki Matsuo

14<sup>th</sup> Congress of the World Federation of International and Therapeutic Neuroradiology 2017 (2017.10.16-19、Budapest, Hungary.)

Impact of Mechanical Thrombectomy Device on Thrombus Histology in Acute Embolic Stroke

Nobutaka Horie, Eisaku Sadakata, Yoichi Morofuji, Tsuyoshi Izumo, Takayuki Matsuo

14<sup>th</sup> Congress of the World Federation of International and Therapeutic Neuroradiology 2017 (2017.10.16-19、Budapest, Hungary.)

脳神経外科治療（脳卒中治療）の最先端【特別講演】

堀江信貴

県央地区脳卒中予防検討会 (2017.11.13、諫早)

頸動脈病変に起因する急性期脳梗塞の治療【依頼講演シンポジウム】

堀江信貴、出雲 剛、定方英作、諸藤陽一、立石洋平、森川 実、案田岳夫、辻野 彰、松尾孝之

第60回日本脳循環代謝学会 (2017.11.3-4、大阪市)

頸動脈狭窄におけるvulnerability 評価とVascular Wall Imaging (VWI)【特別講演】

堀江信貴

第132回宮城神経放射線カンファレンス (2017.11.22、仙台)

CEP 知「疾患・知識」脳動脈瘤（破裂）【日本脳神経血管内治療学会総会教育講演 CEP】

堀江信貴

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2017.11.23-25、東京都)

SPECTRA Coil Delta xsft 魅力再発見～何が変わったか～【アフタヌーンセミナー依頼講演】

堀江信貴

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京都）

症例玉手箱～HydroSoft 3Dの症例経験から～HydroSoft 3Dの finishing 領域における使用経験

【アフタヌーンセミナー依頼講演】

堀江信貴

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京都）

穿通枝を含む内頸動脈・中大脳動脈起始部閉塞に対するステント/ペナンプラ併用療法～基底核は救えるか～

堀江信貴、定方英作、金本 正、諸藤陽一、出雲 剛、立石洋平、森川 実、案田岳夫、辻野 彰、松尾孝之

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京都）

解離性脳動脈瘤に対する血管内治療の知行合一/解離性脳動脈瘤における血管内治療のエビデンス【シンポジウム】

堀江信貴、定方英作、諸藤陽一、出雲 剛、案田岳夫、松尾孝之

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京都）

特異な所見を示したdural AVF の2例【依頼講演】

堀江信貴

第2回Dural Shunt and Anatomy 道場（2017.12.2、福岡）

私のこだわりLVIS stent【依頼講演】

堀江信貴

九州脳血管内治療研究会（2017.12.14、福岡）

視力低下と動眼神経麻痺が急速に進行したトルコ鞍腫瘍の一例

吉田光一

第11回長崎間脳下垂体疾患カンファレンス（2017.3.3、長崎市）

特異な経過をたどったトルコ鞍病変

吉田光一

第32回長崎脳神経疾患治療研究会（2017.3.6、長崎市）

特異な経過をたどったトルコ鞍病変

吉田光一、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之

脳神経外科懇話会（2017.3.8、長崎市）

AT/RTに対して手術/放射線/化学療法後20年後に髄膜腫、甲状腺がん、婦人科がんを起こした1例

吉田光一、定方英作、角田圭司、松尾孝之

第45回日本小児脳神経外科学会（2017.6.2-3、神戸市）

脳神経外科常勤医のいない市中病院での慢性硬膜下血腫の管理

吉田光一

漢方エビデンスセミナー（2017.6.9、長崎市）

両耳側半盲で発症した下垂体腫瘍以外のトルコ鞍病変

吉田光一、柚川知香、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之

第33回長崎脳神経疾患治療研究会（2017.7.31、長崎市）

下垂体がんの免疫組織染色による検討

吉田光一、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之

日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

初発下垂体腺腫に放射線治療後髄腔内播種をおこした下垂体がん

吉田光一、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之

第35回日本脳腫瘍学会学術集会（2017.11.26-28、高松市）

てんかん診療の現状-アンケート調査の結果より-

吉田光一、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之

第3回脳神経外科フォーラム（2017.11.21、長崎市）

脳虚血急性期治療における血栓回収療法の課題—再開通から転帰改善へ—【シンポジウム】

諸藤陽一、立石洋平、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、森川 実、松尾孝之

第22回日本脳神経外科救急学会（2017.2.2-3、高松市）

脳虚血急性期治療における血栓回収療法—側副血行路の重要性—

諸藤陽一、立石洋平、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、森川 実、松尾孝之

第42回日本脳卒中学会学術集会（2017.3.16-19、大阪市）

長崎大学病院における臓器提供に対する院内体制整備／主治医負担軽減／院内臓器移植担当チームの発足に向けて

諸藤陽一、松尾孝之

平成28年度第2回長崎県移植情報担当者協議会（2017.3.6、長崎市）

血管内治療及びクリッピング術が困難な動脈瘤に対するバイパス併用手術  
諸藤陽一、出雲 剛、堀江信貴、案田岳夫、永田 泉、松尾孝之  
第26回脳神経外科手術と機器学会（2017.4.14-15、甲府市）

脳動脈瘤の経過観察中に脳梗塞及びくも膜下出血をきたした2症例  
諸藤陽一、出雲 剛、堀江信貴、案田岳夫、松尾孝之  
第5回五島列島脳血管障害カンファレンス（2017.4.28-30、長崎）

長崎大学病院でのAIS治療成績  
諸藤陽一、堀江信貴、定方英作、山口 将、出雲 剛、案田岳夫、森川 実、立石洋平、  
金本 正、辻野 彰、松尾孝之  
第3回長崎脳血管内治療研究会（2017.6.2、長崎市）

回収した血栓より菌塊が検出された感染性心内膜炎の1例  
諸藤陽一、定方英作、堀江信貴、出雲 剛、案田岳夫、松尾孝之  
脳血管内治療ブラッシュアップセミナー 2017（2017.7.7-9、神戸市）

In vitro analysis to evaluate brain metastatic potential of cancer cells from human surgical specimens  
-Preliminary report-  
Yoichi Morofuji, Takashi Fujimoto, Daisuke Watanabe, Shinsuke Nakagawa, Kenta Ujifuku,  
Nobutaka Horie, Tsuyoshi Izumo, Takeo Anda, Takayuki Matsuo  
20th International Symposium on Signal Transduction at the Blood-Brain Barriers（2017.9.14-15、  
Kraków, Poland）

Role of bypass procedure for complex cerebral aneurysms  
Yoichi Morofuji, Tsuyoshi Izumo, Nobutaka Horie, Takeo Anda, Takayuki Matsuo  
13th International Conference on Cerebrovascular Surgery（2017.10.28-29、Nagoya）

長崎大学病院における脳虚血急性期に対する血栓回収療法の治療成績／側副血行路に着目し  
た治療適応の検討  
諸藤陽一、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、案田岳夫、松尾孝之  
日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

長崎大学病院における脳虚血急性期に対する血栓回収療法の治療成績／側副血行路に着目し  
た治療適応の検討  
諸藤陽一、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、案田岳夫、松尾孝之  
第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京）



急性期血栓回収療法の基本手技-安全確実な治療を目指して-  
諸藤陽一、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、案田岳夫、松尾孝之  
第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2017.11.23-25、東京)

WHO分類に基づくグリオーマ遺伝子分類 長崎大学病院における初期導入  
氏福健太、梅野哲也、馬場史郎、吉田光一、鎌田健作、森川 実、安倍邦子、松尾孝之  
日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

WHO分類に基づくグリオーマ遺伝子分類 長崎大学病院における初期導入【シンポジウム】  
氏福健太、梅野哲也、馬場史郎、吉田光一、鎌田健作、森川 実、安倍邦子、松尾孝之  
第35回日本脳腫瘍学会学術集会 (2017.11.28、高松市)

けいれん発作後Todd's paresis におけるMRI arterial spin labelling による脳血流評価  
馬場史郎、諸藤陽一、立石洋平、小野智憲、戸田啓介、馬場啓至、案田岳夫、辻野 彰、  
松尾孝之  
第12回日本てんかん学会九州地方会 (2017.7.8、熊本市)

West症候群のヒプスアリスミアにおける高周波律動および位相同期性の解析  
馬場 史郎、Vakorin Vasily A, Doesburg Sam M, 本田涼子、小野智憲、戸田啓介、馬場啓至、  
大坪 宏  
日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

Latent fast oscillations and phase synchronization in hypsarrhythmia can predict seizure outcome in  
children with infantile spasms after total corpus callosotomy  
Shiro Baba, Vasily A. Vakorin, Sam M. Doesburg, Chizuko Nagamori, Miguel A. Cortez, Ayako  
Ochi, Ryoko Honda, Ono Tomonori, Keisuke Toda, Hiroshi Baba, Hiroshi Otsubo  
第51回日本てんかん学会学術集会 (2017.11.3-5、京都市)

Latent fast oscillations and phase synchronization in hypsarrhythmia can predict seizure outcome in  
children with infantile spasms after corpus callosotomy  
Shiro Baba, Vasily A. Vakorin, Sam M. Doesburg, Chizuko Nagamori, Miguel A. Cortez, Ayako  
Ochi, Ryoko Honda, Ono Tomonori, Keisuke Toda, Hiroshi Baba, Hiroshi Otsubo  
The 71<sup>th</sup> American Epilepsy Society Annual Meeting, (2017.12.1-5, Washington D.C, USA.)

脳血管障害後てんかんに対するペランパネルの使用経験  
馬場史郎  
フィコンパ発売1周年記念講演会in長崎 (2017.5.29、長崎市)

長崎大学病院におけるてんかん診療の取り組み

馬場史郎

てんかん診療セミナー（2017.7.24、長崎市）

長崎大学病院におけるてんかん診療の取り組み

馬場史郎

長崎てんかん治療セミナー（2017.10.19、長崎市）

当院でのペランパネルの使用経験

馬場史郎

脳神経外科Expert meeting（2017.10.25、長崎市）

画像診断に苦慮したトルコ鞍を主座とするpilocytic astrocytomaの一例

郡家克旭、藤本隆史、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、吉田光一、鎌田健作、松尾孝之  
第125回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.3.11、福岡市）

浸潤性グリオーマにおけるASL perfusion MRI と DSC perfusion MRI の相違

梅野哲也

日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

Postoperative Luxury Perfusion on Arterial Spin Labeling MRI Indicates Reperfusion Injury and Hemorrhagic Complication after Endovascular Mechanical Thrombectomy.

Eisaku Sadakata, Nobutaka Horie, Yoichi Morofuji, Yohei Tateishi, Tsuyoshi Izumo, Minoru Morikawa, Akira Tsujino, Takayuki Matsuo

International Stroke Conference 2017（2017.2.22-24、Houston, Texas, USA）

急性期脳梗塞に対する血管内治療後のarterial spin labelling高信号の意義

定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、辻野 彰、森川 実、松尾孝之  
第42回日本脳卒中学会学術集会（2017.3.16-19、大阪市）

ダウン症に合併したgerminoma の1例

定方英作、吉田光一、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、安倍邦子、森川 実、松尾孝之

第45回日本小児神経外科学会（2017.6.1-3、神戸市）

治療に苦慮した血栓症によるBA occlusion の1例

定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、辻野 彰、松尾孝之  
第26回日本脳神経血管内治療学会九州地方会（2017.9.2、福岡市）

血栓回収療法後のLuxury Perfusion による再灌流障害について

定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、辻野 彰、森川 実、松尾孝之  
日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

血栓回収療法後のLuxury Perfusion による再灌流障害について

定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、案田岳夫、森川 実、辻野 彰、  
松尾孝之  
第60回日本脳循環代謝学会（2017.11.2-4、大阪市）

血栓回収療法後のLuxury Perfusion による再灌流障害について

定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、案田岳夫、森川 実、辻野 彰、  
松尾孝之  
第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京都）

Exoscopeを用いた隔壁を有する慢性硬膜下血腫手術の初期使用経験

藤本隆史、諸藤陽一、出雲 剛、松尾孝之  
第22回日本脳神経外科救急学会（2017.2.3-4、高松市）

治療に難渋した神経原性高血圧症の一例

藤本隆史、諸藤陽一、堀江信貴、永田 泉、松尾孝之  
第46回日本脳卒中の外科学会学術集会（2017.3.16-19、大阪市）

In vitro analysis to evaluate brain metastatic potential of cancer cells from human surgical specimens  
-Preliminary report-

Takashi Fujimoto, Yoichi Morofuji, Shinsuke Nakagawa, Kenta Ujifuku, Nobutaka Horie, Tsuyoshi  
Izumo, Takeo Anda, Takayuki Matsuo  
20th International Symposium on Signal Transduction at the Blood-Brain Barriers（2017.9.13-15、  
Kraków, Poland）

長崎大学病院における慢性硬膜下血腫の治療方針-より良好な治療成績を目指して-

藤本隆史、出雲 剛、諸藤陽一、松尾孝之  
日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

硬膜欠損部閉鎖術にて加療した胸椎硬膜外くも膜嚢胞の1例

伊木勇輔、角田圭司、鎌田健作、松尾孝之  
第16回京都鴨川脊椎手術研究会（2017.6.23-25、京都市）

神経節芽細胞腫の症例報告

伊木勇輔、角田圭司、松尾孝之

第3回美ら海セミナー（2017.7.15-17、沖縄県）

脊髄生検にて診断した原発性中枢神経悪性リンパ腫の1例

伊木勇輔、角田圭司、松尾孝之

第127回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.10.21、長崎市）

脳動脈瘤の経過観察中に脳梗塞及びくも膜下出血をきたした2症例

佐藤 慧、諸藤陽一、堀江信貴、出雲 剛、案田岳夫、松尾孝之

第126回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.6.17、鹿児島市）

胸髄にMRI異常信号を認めた頭蓋頸椎移行部硬膜動静脈瘻の一例

佐藤 慧、諸藤陽一、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之

日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

Os odontoideumにより脳梗塞を繰り返した小児の一例

佐藤 慧、諸藤陽一、堀江信貴、出雲 剛、角田圭司、案田岳夫、松尾孝之

第35回長崎脳神経外科研究会（2017.12.23、長崎市）

直達手術により海綿静脈洞硬膜動静脈瘻の根治が得られた一例

大園恵介、諸藤陽一、定方英作、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之

第22回日本脳神経外科救急学会（2017.2.3-4、高松市）

Exscope を用いた隔壁を有する慢性硬膜下血腫手術の初期使用経験

高平良太郎、出雲 剛、藤本隆史、諸藤陽一、松尾孝之

第125回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.3.11、福岡市）

破裂脳動脈瘤コイル塞栓術後に再破裂ではなく血腫が増大した症例の検討

高平良太郎、諸藤陽一、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、案田岳夫、松尾孝之

日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

ダウン症に合併したgerminomaの1例

高平良太郎、定方英作、吉田光一、梅野哲也、氏福健太、鎌田健作、安倍邦子、森川 実、  
松尾孝之

第127回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.10.21、長崎市）

トルコ鞍部から鞍上部に発生した傍神経節腫の1例

杣川知香、伊木勇輔、馬場史郎、氏福健太、吉田光一、鎌田健作、安倍邦子、松尾孝之  
第126回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.6.17、鹿児島市）

脳梗塞に対する間葉系幹細胞移植の効果はドナーの年齢に依存する—agingによる影響—

山口 将、堀江信貴、定方英作、佐藤克也、西田教行、松尾孝之  
第31回長崎障害者支援再生医療研究会（2017.2.14、長崎市）

#### (11) 学位授与

Glucagon-Like Peptide-1 Strengthens the Barrier Integrity in Primary Cultures of Rat Brain Endothelial Cells Under Basal and Hyperglycemia Conditions

グルカゴン様ペプチド-1は通常時と高血糖時の初代培養ラット毛細血管内皮細胞のバリア機能を強化する

福田修志（2017.2.1）博（医歯薬）甲第908号

Involvement of the neuronal phosphotyrosine signal adaptor N-Shc in kainic acid-induced epileptiform activity

NShcホスホチロシンアダプター分子のカイニン酸誘発てんかん性活動への関与

馬場史郎（2017.3.8）博（医歯薬）甲第933号

Hyperglycemia is associated with poor survival in primary central nervous system lymphoma patients

中枢神経系原発悪性リンパ腫患者の高血糖状態は生命予後不良と関連する

出端亜由美（2017.6.7）博（医歯薬）甲第974号

Age of donor of human mesenchymal stem cells affects structural and functional recovery after cell therapy following ischaemic stroke

ヒト骨髄間葉系幹細胞のドナーの年齢は脳梗塞後細胞移植において構造的・機能的回復に影響する

山口 将（2017.12.6）博（医歯薬）甲第1004号

## (12) 研究助成金による研究

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
松尾孝之・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 悪性神経膠腫浸潤開始因子の 脳血液関門モデルを用いた探 索
松尾孝之・教授	国立研究開発法人日本医療 研究開発機構 (AMED)	分担	希少がん領域の標準治療を開 発する研究 (26273101) 予後不良の神経膠腫に対する 標準治療の確立と希少癌組織 のバイオバンクを目的とした 多施設共同研究
日宇 健 ・客員研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 脳梗塞に対する幹細胞療法の シナプス増生のメカニズムの 解明
松尾孝之・教授 堀江信貴・講師	日本学術振興会	分担	
林 健太郎 ・客員研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 高血糖による血液脳関門障害 におけるペリサイトの役割
出雲 剛・講師 諸藤陽一・助教	日本学術振興会	分担	
堀江信貴・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 脳梗塞治療効果の飛躍的向上 への戦略～急性期薬物治療と 幹細胞移植の融合～
諸藤陽一・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 灌流型3次元血液脳関門モデ ルの開発と応用
諸藤陽一・助教	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金 (国際 共同研究強化) 脳虚血時における血液脳関門 の破綻及び修復機序の解明 (国際共同研究強化)
氏福健太・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 初代培養細胞とin vitro血液脳 関門モデルを用いたがん脳転 移メカニズムの解明

梅野哲也・医員	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 免疫組織化学を応用した MGMT methylation statusの評価
山口 将 ・客員研究員	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 投与細胞の若返りを目指した 脳梗塞に対する幹細胞移植投 与方法の確立

## (13) 社会活動

氏名・職	委員会等名
松尾孝之・教授	日本脳神経外科学会（代議員、専門医試験委員、評議委員、用語委員、 医療安全管理委員） 日本脳神経外科学会九州支部会（理事） 日本頭蓋底外科学会（理事） 日本定位放射線治療学会（理事） 日本神経内視鏡学会（運営委員） 日本脳腫瘍の外科学会（理事、評議員） 日本間脳下垂体腫瘍学会（理事） 日本脳卒中学会（代議員） International radiosurgery society（Active member） 長崎下垂体研究会（世話人） 長崎DDS研究会（世話人） 長崎障害者支援再生医療研究会（世話人） 長崎県脳卒中検討委員会（運営委員） 長崎県移植医療推進協議会（協議会委員） 長崎地区脳卒中センター等会議（運営委員） 長崎回復期リハビリテーション連絡協議会（世話人）
角田圭司・講師	Craniosynostosis研究会（世話人） 九州山口ニューロスパイン研究会（世話人） 日本脊髄外科学会（代議員） 日本脊髄外科学会機関誌（Reviewer Board） 脊髄疾患動画技術研究会（世話人）

出雲 剛・講師	日本脳卒中協会長崎支部（副支部長） 日本脳卒中の外科学会（代議員） 長崎労働局（地方労災委員） Austin Journal of Neurosurgery (Editorial Board) International Journal of Surgery and Surgical Procedures (Editorial Board) Medical Research Archives (Reviewer Board) Journal of Neurosurgical Sciences (Reviewer Board) 日本脳神経外科救急学会（評議員） 日本脳神経外科救急学会（若手アカデミア委員） 日本脳神経外科学会 国際教育小委員会（委員）
鎌田健作・講師	長崎県損害保険料率算出機構（顧問医） 長崎市医師会看護専門学校（非常勤講師）
堀江信貴・助教	脳梗塞に対する幹細胞治療ガイドラインワーキンググループ（作成委員） 長崎県（長崎障害者支援再生医療研究会実務） 日本脳循環代謝学会（評議員） 日本脳卒中学会（評議員（査読委員兼任による推薦）） 日本心血管脳卒中学会（評議員） 日本脳神経血管内治療学会九州地方会（世話人幹事） 日本脳神経血管内治療学会（Onyx プロクター、試験委員） Journal of Neuroendovascular Therapy (JNET)（査読委員） Neurologia-Medico-Chirurgica (Review Board Member) Journal of Biomedicine and Biotechnology (Editorial Board Member in Neurology) Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases (Review Board Member) Journal Neurosurgical Science (Review Board Member) J Neurological Disorders & Stroke (Editorial Board Member) Journal of Radiology & Radiation therapy (Editorial Board Member) Edorium Journal of Neurosurgery (Editorial Board Member) Austin Journal of neurosurgery (Editorial Board Member) Austin Journal of Cerebrovascular Disease & Stroke (Editorial Board Member)
吉田光一・助教	長崎市医師会看護専門学校（非常勤講師）
諸藤陽一・助教	長崎県移殖情報担当者（委託）
諸藤陽一・助教	ファーマコセル株式会社（客員研究員）
氏福健太・助教	長崎市医師会看護専門学校（非常勤講師）



## (14) その他

## 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と 社会との関連
	なし			

# 長 崎 労 災 病 院

(〒857-0134 佐世保市瀬戸越2-12-5 部長 北川直毅)

## 【現況報告】

佐世保郊外（といっても市町村合併で江迎まで佐世保市になったため、幾分中央よりの北部にあります長崎労災病院（よく佐世保労災病院という人がいますが、長崎労災病院が正式名です；訪問者が間違っって長崎に行ってしまう「長崎のどの辺りにあるんですか？」などとの連絡を受けることがあり、個人的には佐世保労災病院が良いんじゃないかと考えてます）の近況報告です。

（神経内科の差し金なのか）高次脳卒中センターから地域脳卒中センターに降格を受けた当院は、元々は地域で一番の症例数を誇る脳卒中病院でしたが、降格のあおりを受け脳卒中超急性期の症例は残念ながら減少しています。また重症頭部外傷も佐世保市総合医療センターの救命救急センター化で減少しており、外傷性頭蓋内出血の手術が少ないことに症例数をまとめていて正直驚かされました。しかし手術症例数は待機手術症例の増加により横ばいであり、地元に戻った2名の先生方の代わりに出戻りの白川先生と大学病院から専門医訓練中の高平先生に勤務いただき、これまで通りの4名のメンバーで頑張っています。これからも佐世保北部の脳神経外科の基幹病院として頑張っていこうと思います。

（記 北川直毅）

## 【業績】

(1) 医師数 4 (専門医 3)

北川直毅、広瀬 誠、豊田啓介、郡家克旭

(2) 病床数 47

(3) 入院症例数 595

(4) 手術症例数 165

brain tumor	.....	17
meningioma	10	
craniopharyngioma(rec)	1	
metastatic	5	
biopsy	1 (ML)	
ruptured aneurysm(craniotomy)	.....	14
IC-PC	3	

	MCA	4	
	Acom	6	
	BA top	1	
Unruptured aneurysm			10
	IC-PC	4	
	MCA	2	
	Acom	4	
Hypertensive ICH			7
	Craniotomy	6	
	Stereo	1	
AVM			1
ICA stenosis (carotid endarterectomy)			14
EC-IC bypass			4
Head trauma			51
	Acute subdural hematoma	1	
	Chronic subdural hematoma	50	
V-P shunt			18
Ventricle drainage			7
External decompression			7
Cranioplasty			7
MVD			6
Others			2

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 49

aneurysm			16 (SAH 3)
	intra-aneurysmal	11	
	stent & coil	4	
	trapping	1	
AVM			1
ICA stenosis(CAS)			10
Petrous ICA stenosis(PTAS)			1
Subclavia(PTAS) & axillar stenosis(PTA)			3
Stent & Penumbra & PTA			12
Tumor			5
CSDH			1

(7) 剖検数 0

(8) 論文

脳梗塞超急性期治療が激変～この3年間で変わったこと～

北川直毅

長崎県医師会報 平成29年第863号 12, 診療茶話 No.460, 48-51, 2017

(9) 学会発表

再発性脳底動脈先端部脳動脈瘤に対してhorizontal stentを用いて塞栓術を行った一例

北川直毅

第61回佐世保脳神経外科医会 (2017.2.21、佐世保)

脳卒中の急性期・慢性期治療

北川直毅

北松浦医師会学術講演会 (2017.5.19、佐世保市)

脳卒中について

北川直毅

長崎労災病院 市民のみなさまの健康講座 (2017.5.22、佐世保)

脳血管内治療の2例；上手くいった例、上手くいかなかった例

北川直毅

第3回長崎脳血管内治療研究会 (2017.6.2、長崎市)

脳卒中と慢性腎臓病

北川直毅

第2回長崎瀬戸越脳卒中フォーラム (2017.7.20)

当院における急性期脳卒中 (AIS) 治療について

北川直毅

ストップ！NO卒中プロジェクトエリア会議 (2017.8.4、佐世保市)

脳梗塞急性期の血行再建とDOAC

北川直毅

長崎県北Network Meeting (2017.10.25、佐世保)

ONYX塞栓後に開頭摘出術を行った脳動静脈奇形の1例  
 広瀬 誠、郡家克旭、豊田啓介、北川直毅、堀江信貴、出雲 剛  
 第62回佐世保脳神経外科医会（2017.4.21、佐世保）

脳梗塞に関する最近の話題  
 広瀬 誠  
 平戸医師会学術講演会（2017.7.21、平戸）

C1 blister like aneurysm破裂によるSAHの1例  
 広瀬 誠、郡家克旭、豊田啓介、北川直毅  
 第65回佐世保脳神経外科医会（2017.11.21、佐世保）

脳外科手術（microneurosurgery）に対する情熱  
 広瀬 誠  
 島原脳卒中研究会（2017.12.7、島原）

High flow bypassを安全に行うための工夫  
 広瀬 誠、郡家克旭、豊田啓介、北川直毅  
 第35回長崎脳神経外科研究会（2017.12.23、長崎市）

当院でのAISに対する血栓回収療法 最近の一症例～地域医療におけるドクターヘリの活用～  
 郡家克旭、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅  
 長崎県救急医学会（2017.6.21、佐世保）

左頸部内頸動脈chronic total occlusionによる脳梗塞急性期にCASを施行した一例  
 郡家克旭、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅  
 第63回佐世保脳神経外科医会（2017.10.20、佐世保）

ステント併用コイル塞栓術にて治療したAICA involved-basilar artery fusiform aneurysmの一例  
 郡家克旭、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅  
 第127回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.10.21、長崎市）

(10) 社会活動

氏名・職	委員会等名
北川直毅	日本脳神経血管内治療学会九州地方会（世話人） 労災診療指導委員会（委員）

## 佐世保市立総合医療センター

(〒857-8511 佐世保市平瀬町9-3 部長 岩永充人)

### 【現況報告】

#### 《スタッフ交代》

平成30年3月に白川靖先生が長崎労災病院、松永裕希先生が長崎大学病院へ転出されました。せつないです。白川先生は25年来の同志で、ちょくちょく昔話に付き合ってくださいました。スタッフ一人としての役割だけでなく、他のスタッフの後方支援を分担してもらっていました。嫌な役回りを引き受けていただき、ありがとうございました。仕事以外では、少ない練習時間にもかかわらず、東京マラソンを無事に完走されました。おめでとうございます。松永先生には少数例ながら、術者として顕微鏡手術・血管内手術に携わっていただきました。くわえて、その他のほとんどの症例で助手役を担当してもらいました。獅子奮迅の働き、ありがとうございました。また、家庭では第二子が無事に誕生なさいました。おめでとうございます。お二人の新天地でのご活躍を祈念します。



平成30年4月に長崎大学より杣川知香先生が赴任されました。うれしいです。本稿執筆中は、まだどんな方なのか不明ながら、すでに主力級の働きです。顕微鏡手術の練習も始めました（写真）。二人の抜けた穴を補って余りあるほどのご活躍をすごく期待しています。

#### 《その他》

脳卒中センターを脳神経外科と神経内科で運営しています。脳神経外科は平成30年4月より4名、神経内科は平成30年8月より2名と、ともにスタッフ減となります。脳卒中の受け入れ数、手術症例数は年々増加しています。この流れを断ち切らぬよう、それでいて体を壊さぬよう、分担・協力しながらつとめてまいります。

これまでアナウンスしていたSCUがいまだ立ち上がっておりません。ナース不足のためです。佐世保にお知り合いのナースがいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

(記 岩永充人)

## 【業績】

(1) 医師数 5 (専門医 4)

岩永充人、白川 靖、林 健太郎、林 之茂、松永裕希

(2) 病床数 25

(3) 入院症例数 557

(4) 手術症例数 183

脳腫瘍	24
開頭摘出術	22
生検術	1
開頭術	0
定位手術	1
経蝶形骨洞手術	1
脳血管障害	53
クリッピング	14
破裂動脈瘤	6
未破裂動脈瘤	8
脳動静脈奇形	1
頸動脈内膜剝離術	8
バイパス術	3
高血圧性脳内出血	21
開頭血腫除去	7
定位手術	1
内視鏡	4
脳室ドレナージ	9
減圧開頭術	6
外傷	67
急性硬膜外血腫	4
急性硬膜下血腫	7
慢性硬膜下血腫	54
外傷性脳内血腫	2
水頭症	14
脳室シャント術	14
脊椎・脊髄	2
椎弓切除術	1
椎弓形成術	1

その他	23
頭蓋形成術、腫瘍ドレナージ術等	23
(5) 定位的放射線治療症例数	22
腫瘍	20
転移性脳腫瘍	14
SRS	11
SRT	3
髄膜腫	2
SRS	1
SRT	1
聴神経鞘腫	1
SRT	1
下垂体腺腫	1
SRT	1
血管芽腫	1
SRS	1
孤発性線維性腫瘍	1
SRT	1
脳動静脈奇形	2
SRS	2
(6) 血管内手術症例数	64
脳動脈瘤塞栓術	22
破裂動脈瘤	12
未破裂動脈瘤	10
脳動静脈奇形	2
硬膜動静脈瘻	1
経静脈的塞栓術	1
閉塞性脳血管障害	36
血栓回収療法	22
ステント留置術	14
腫瘍塞栓	3
(7) 剖検数	0



(8) 論文

内動脈起始部の急性閉塞と中大脳動脈塞栓に対して再開通療法を施行し、慢性期に頸動脈内膜剥離術を施行した1例

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄  
脳卒中の外科 45(1): 46-52, 2017

破裂内頸動脈-重複中大脳動脈分岐部動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した1例

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄  
No Shinkei Geka 45(5): 391-396, 2017

多発性に脳出血を繰り返した転移性脳腫瘍の1例

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄  
No Shinkei Geka 45(6): 541-547, 2017

Traumatic pseudoaneurysm in maxillary sinus presenting intractable epistaxis: a case report of transarterial embolization.

Hayashi K, Matsuo Y, Hayashi Y, Shirakawa K, Kaminogo M.  
Journal of Neuroendovascular Therapy 11(2): 76-80, 2017

Observation method of the mesh-type embolus protection filter for carotid artery stenting

Hayashi K, Matsunaga Y, Hayashi Y, Shirakawa K, Iwanaga M.  
Journal of Neuroendovascular Therapy 11(11): 592-596, 2017

CEAのための解剖の基本と破格について

林 健太郎  
『パーフェクトマスター頸動脈狭窄症』, メジカルビュー社 (東京): pp.31-39, 2017

海外脳神経外科最新事情

1<sup>st</sup> international & 5<sup>th</sup> annual conference of Nepalese Society of Neurosurgeons

林 健太郎  
脳神経外科速報 27(6): 646-648, 2017

The 17th ASEAN Congress of Neurological Surgery and The 7th National Congress of Indonesian Society of Neurological Surgeonsに参加して

林 健太郎  
脳神経外科速報 27(12): 1285-1287, 2017

Japan-Korea Joint Conference on Surgery for Cerebral Stroke 2016報告

林 健太郎

脳神経外科速報 27(2): 206-207, 2017

長崎大学における頸動脈内膜剥離術の基本手技

出雲 剛、諸藤陽一、藤本隆史、定方英作、日宇 健、堀江信貴、林 健太郎、案田岳夫、立石洋平、辻野 彰、松尾孝之、永田 泉

Neurosurg Emerg 22(2): 93-96, 2017

#### (9) 学会発表

脳卒中ホットライン導入前後の脳梗塞患者動向

岩永充人、松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖

第42回日本脳卒中学会学術集会 (2017.3.16、大阪市)

急性期脳梗塞症例の受け入れ体制は脳卒中ホットラインで変わるかー脳卒中ホットライン導入後2年を経過してー

岩永充人

第45回日本救急医学会総会・学術集会 (2017.10.24-26、大阪市)

内頸動脈低形成の1例

林 健太郎

第6回Interventional Anatomy in Neurovascular System Seminar (2017.1.28、福岡)

Carotid artery stenting versus carotid endarterectomy 【特別講演】

Hayashi K

1<sup>st</sup> international and 5<sup>th</sup> annual conference of Nepalese society of neurosurgeon. (2017.3.10-11, Kathmandu, Nepal)

脳卒中急性期におけるFIESTA-MRIを用いた大動脈疾患の鑑別

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人

第42回日本脳卒中学会学術集会 (2017.3.16-19、大阪市)

総頸動脈狭窄症に対するステント留置術

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人

第46回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2017.3.16-17、大阪市)

頸動脈狭窄症に対する外科的治療と合併症の回避

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人

日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

脳血管内治療のピットホール【基調講演】

林 健太郎

脳卒中医療連携セミナー（2017.12.14、佐世保市）

pushable coilを用いた脳血管内治療

林 健太郎

九州脳血管内治療勉強会（2017.12.16、福岡市）

頸動脈ステントフィルター観察からの遠位塞栓の再考

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京）

等浸透圧造影剤によるシリンジラベルの剥離：塞栓合併症のリスク

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京）

Past and present status of the endovascular treatment for acute cerebral artery occlusion

Hayashi K

The 17<sup>th</sup> ASEAN congress of neurological surgery and The 7<sup>th</sup> national congress of Indonesian society of neurological surgeons（2017.7.19-21、Balikpapan, Indonesia.）

Development of Carotid artery stenting in JAPAN

Hayashi K

The 17<sup>th</sup> ASEAN congress of neurological surgery and The 7<sup>th</sup> national congress of Indonesian society of neurological surgeons（2017.7.19-21、Balikpapan, Indonesia.）

Endovascular treatment of spinal dural AVF

Hayashi K

The 17<sup>th</sup> ASEAN congress of neurological surgery and The 7<sup>th</sup> national congress of Indonesian society of neurological surgeons（2017.7.19-21、Balikpapan, Indonesia.）

Hands on training instructor: Cerebral aneurysm coiling

Hayashi K

The 17<sup>th</sup> ASEAN congress of neurological surgery and The 7<sup>th</sup> national congress of Indonesian society of neurological surgeons（2017.7.19-21、Balikpapan, Indonesia.）

Hands on training instructor: Cerebral aneurysm coiling

Hayashi K

第13回国際脳卒中の外科学会（2017.10.27-29、名古屋市）

Current trend of surgical treatment of carotid artery stenosis to avoid complication

Hayashi K, Matsunaga Y, Hayashi Y, Shirakawa K, Iwanaga M

第13回国際脳卒中の外科学会（2017.10.27-29、名古屋市）

両側外転神経麻痺を来した脳室腹腔シャント機能不全の一例

林 之茂、松永祐希、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第125回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.3.11、福岡市）

両側外転神経麻痺を来した脳室腹腔シャント機能不全の一例

林 之茂、松永祐希、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第127回県北神経懇話会(2017.2.28、佐世保市)

副中大脳動脈に関連した塞栓性脳梗塞に対して急性期血行再建を施行した1例

松永裕希、岡村宗晃、林 健太郎、林 之茂、白川 靖、岩永充人

第25回日本脳神経血管内治療学会九州地方会（2017.1.21、福岡市）

極短期間で形態変化を示しBlood blister-like aneurysmに類似する病態と考えられた椎骨動脈解離の一例

松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第22回日本脳神経外科救急学会（2017.2.3、高松市）

微小出血を認めず短期間に頻回の脳皮質下出血を繰り返したCerebral amyloid angiopathyの一例

松永裕希、山口 将、陶山一彦、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第42回日本脳卒中学会学術集会（2017.3.16、大阪市）

中国で治療されたPICA involved type VA dissectionに対して追加治療を行った1例

松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

佐世保脳外科医会（2017.6.21、佐世保市）

極短期間で形態変化を示しBlood blister-like aneurysmに類似する病態と考えられた椎骨動脈解離の一例

松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第24回日本脳神経外科血管内治療学会九州地方会（2017.10.8、福岡市）

副中大脳動脈に関連した塞栓性脳梗塞に対して急性期血行再建を施行した1例  
 松永裕希、岡村宗晃、林 健太郎、林 之茂、白川 靖、岩永充人  
 第35回長崎脳神経外科研究会（2017.12.23、長崎市）

## (11) 社会活動

岩永充人	長崎県脳卒中検討委員会（委員） 長崎県移植医療推進協議会（委員）
白川 靖	長崎県立佐世保看護学校（非常勤講師） 佐世保市小値賀町介護認定審査会（委員）
林 健太郎	日本脳神経外科学会機関誌Neurologia Medico-Chirurgica（査読委員） 日本脳神経血管内治療学機関誌JNET（査読委員） 日本脳神経血管内治療学会九州地方会（世話人） 日本心血管脳卒中学会（評議員） 佐世保市立看護学校（非常勤講師）
林 之茂	佐世保市立看護学校（非常勤講師）

## 国立病院機構長崎医療センター

(〒856-8562 大村市久原2-1001-1 部長 堤 圭介)



### 【現況報告】

・在籍医師：堤 圭介・牛島隆二郎・原口 渉・川原一郎・小野智憲・日宇 健

今年度（2018年度）から新しく原口先生に赴任していただき、スタッフは上記6名になりました。近年患者さん数の増加に伴い、緊急・予定手術ともに増えてきています。2017年は直達手術約400例、血管内治療70例で過去最高でした。2018年も1～2月は月50例を超えるハイペースで、4月末時点ですでに昨年を上回っている状況です。僕はもうあまり手術はできませんので、牛島先生以下5人の先生方の負担が増えてきていて申し訳なく思っています。一番若い日宇先生が40歳台前半で、平均年齢が高くなってきています。皆さんの体調を心配する今日この頃です。スタッフの増員があればなーといつも期待しています・・・(^)v。

スタッフはそれぞれ専門領域を持っている方が多く、各先生がその領域の診療を提供しながら、外傷/通常の脳卒中など脳神経救急を含めて全般的には、原則当日担当の先生を主体に携わっていただくというシステムでやっています。もちろん状況によって柔軟な対応をいただいています……。昨年後半からは、小野先生（てんかん専門医）がてんかんセンター長、本年初めからは、牛島先生（小児脳神経外科専門医）が小児脳神経外科センター長として活躍されています。本年度から新しい長崎県医療計画（脳卒中分野）が策定された背景もあり、4月から川原先生（脳卒中専門医/脳卒中の外科技術指導医）に高次脳卒中センター長 兼 脳卒中外科部門主任に就任していただき、中心となって運営してもらっています。また、日宇先生（脳血管内治療指導医/脳卒中の外科技術認定医）は、脳卒中センターの脳血管内治療部門主任として、“血管内治療と直達手術の二刀流”で活躍されています。

脳卒中内科部門主任は神経内科の岩永先生にお願いしました。原口先生は赴任されたばかりで慣れないことも多いと思いますが、すでに多忙な当科の一員としていろいろな面でサポートしていただいています。特に研修医などの若い先生方や学生さんには優しくわかりやすい指導をしてくださっているのが、初期研修や学生実習などのマネージメントをお願いできないかとご相談しているところです。当院は施設の歴史や性格上、初期研修医が常時40人以上在籍しますし、その2/3以上は脳外科/神経内科/脳卒中各コースを選択して脳外科の病棟をローテートしてくれます。各脳外科医自身のmotivationを上げるのみならず、after 5も含めて交流したり教育したりすることを通じて研修医に影響を与えうる脳外科医の存在は、脳神経外科の未来を展望する意味からも重要ではないかと考えています。

当院の脳卒中ホットライン（NMC-SHOT）は、中道救命センター長を中心とする救命医がfirst touchをし、積極的に協力してくれるシステムですが、今年度より離島施設へも枠が広がり、スマートデバイスの導入も予定されています。離島の先生方も積極的で、今年度からは、当院における神経内科/脳外科での初期研修後長崎県対馬病院で活躍されている若手の先生が、脳卒中急性期の内科的診療や血管内治療の研修のため、神経内科に1年間赴任されます。脳卒中グループとして協力してやっていますので、離島との間のtele-stroke systemの運用上も連携しやすくなることが期待され、非常に有意義なことだと思っています。今後このような県全体としての協力体制が重要となっていくでしょう。

診療看護師（Japan nurse practitioner: JNP）の参加によって重症例も含む患者搬送のスムーズ化/効率化が図られてきていて、脳外科医がその本来の業務に集中できる時間的環境が従来よりも改善されてきました。JNPの貢献は、脳神経外科および脳神経内科的疾患の診療全体においても極めて重要な位置を占めてきており、患者さん・ご家族/パラメディカルスタッフ/担当医/他科の医師 間のスムーズなコミュニケーションや連携の原動力ともなっています。最初に赴任してくれた本田JNPは脳外科にたいへんな興味を持っていて、日本全体のJNPを牽引する意味でも重要な役割を担っている人材です。今年度からは上五島病院で平山先生と一緒に活躍していますが、来年度の帰還を期待しています。今年後の当科には、救命救急の専攻を希望する森塚JNPが赴任してくれて、非常にactiveな活躍をしていますので、来年度はこの2人が同時に在籍してくれればと切望しているところです。

（記：堤 圭介）

## 【業績】

(1) 医師数 6（専門医 5）

堤 圭介、牛島隆二郎、小野智憲、川原一郎、日宇 健、大園恵介

(2) 病床数 50－60

(3) 入院症例数 747

(4) 総手術症例数 465

(A) 直達手術 395

脳血管障害	.....	98
脳動脈瘤	.....	44
	破裂 (23)	未破裂 (21)
IC	8 ( 5	3 )
ACom	10 ( 5	5 )
Distal AC	4 ( 3	1 )
MC	21 ( 10	11 )
VA	1 ( 0	1 )
	(多発性：3例：破裂瘤のみ登録)	
脳出血	.....	35
	直達手術	32
	定位的	2
	内視鏡下	1
CEA	.....	10
STA-MCA bypass	.....	7
AVM	.....	1
Dural AVF	.....	1
脳腫瘍	.....	18
Glioma	.....	3
Meningioma	.....	7
Pituitary adenoma(Hardy)	.....	1
Metastatic tumor	.....	4
Epidermoid	.....	1
Skull tumor	.....	2
炎症性腫瘍	.....	1
Tuberculoma	.....	1
頭部外傷	.....	87
急性硬膜下血腫	.....	10
急性硬膜外血腫	.....	1
脳挫傷/脳内血腫	.....	5
慢性硬膜下血腫例	.....	70
陥没骨折	.....	1
てんかん	.....	54
側頭葉切除	.....	9
焦点切除	.....	14
脳梁離断	.....	14
硬膜下電極植え込み	.....	10



迷走神経刺激電極植え込み	7
MVD	4
水頭症	69
Shunt手術 (VP-Shunt/LP-shunt)	55
シャント抜去/延長	14
硬膜下水腫	1
VP-shunt	1
脊髄・脊椎	9
脊椎披裂	5
キアリ	3
Dural AVF	1
感染	5
外減圧	11
内減圧	1
頭蓋形成	26
脳室ドレナージ	10
その他	2
(B) 脳血管内治療	70
脳動脈瘤コイル塞栓術	16
破裂 (10)	
未破裂 (6)	
IC	8 ( 4 4 )
ACom	4 ( 3 1 )
VA	4 ( 3 1 )
AVM塞栓術	4
Dural AVF	1
CAS	6
エリル動注	5
血栓回収	34
頭蓋外PTA/Stenting (頸動脈を除く)	1
頭蓋内PTA/Stenting	1
TAE (腫瘍)	2

(5) 剖検数 0

(6) 論文

Standards for data acquisition and software-based analysis of in vivo electroencephalography recordings from animals. A TASK1-WG5 report of the AES/ILAE Translational Task Force of the ILAE.

Gnatkovsky V, Ono T, Otáhal J, Wagenaar J, Stacey WC, Noebels J, Ikeda A, Staley K, de Curtis M, Litt B, Galanopoulou AS.

Epilepsia 58(S4): 53-67, 2017

Frequent vomiting attacks in a patient with Lhermitte-Duclos disease: a rare pathophysiology of cerebellar lesions?

Somagawa C, Ono T, Honda R, Baba H, Hiu T, Ushijima R, Toda K, Sato K, Ito M, Tsutsumi K.

J Neurosurg Pediatr 20(3): 298-301, 2017

Neurosurgical interventions for encephalitis-related seizures and epilepsy.

Ono T, Honda R, Toda K, Baba H.

Acute Encephalopathy and Encephalitis and Its Related Disorders; Elsevier (Amsterdam):pp. 223-228, 2017

The Surgical Management and Histology of Symptomatic Large Extracranial Internal Carotid Artery Aneurysms.

Hiu T, Izumo T, Yoshioka T, Baba S, Yokoyama H, Shimokawa I, Suyama K, Matsuo T, Nagata I.

Annals of Neurodegenerative Disorders 2(1): 1024(2017)

Convexity meningioma様の画像所見を呈した頭蓋内限局型Castleman病の1症例

大園恵介、藤本隆史、広瀬 誠、川原一郎、内橋和芳

No Shinkei Geka 45(1): 39-45, 2017

びまん性上衣下転移を来した肺small cell carcinomaの極めて稀な1症例

川原一郎、藤本隆史、大園恵介、広瀬 誠、豊田啓介、北川直毅、池田 徹、内橋和芳

No Shinkei Geka 45(2): 167-174, 2017

開頭血腫術後、開頭部位から離れた箇所が発生した前頭蓋窩硬膜動静脈瘻の1症例

川原一郎、藤本隆史、広瀬 誠、豊田啓介、北川直毅

No Shinkei Geka 45(6): 519-526, 2017

潜在性Basedow病に合併した脳静脈洞血栓症の1症例

川原一郎、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅

No Shinkei Geka 45(9): 805-810, 2017

てんかんセンター巡り 第22回 国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター  
戸田啓介  
月刊 『波』3: 62-63, 2017

遅発性対側動眼神経麻痺を来した破裂内頸動脈-後交通動脈分岐部動脈瘤の1例  
柚川知香、福田雄高、吉村正太、佐藤 慧、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、  
堤 圭介  
No Shinkei Geka 45(7): 629-635, 2017

Azygos anterior cerebral artery脳梁下部(A2)のinfundibular dilatationに新生した多発性(破裂/未破  
裂)微小脳動脈瘤の1例  
吉村正太、柚川知香、佐藤 慧、福田雄高、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、  
堤 圭介  
No Shinkei Geka 45(10): 897-904, 2017

経時的なMR angiography所見の変化によって椎骨動脈解離の診断に至った多発性脳梗塞の2  
男児例  
小出憲呼、本田涼子、日宇 健、安 忠輝、田中茂樹、北島 翼、堤 圭介  
脳と発達 49(6): 401-404, 2017

#### (7) 学会発表

てんかん性スパズムに対する脳梁離断術後の症候学的側方性  
内田大貴、小野智憲、本田涼子、渡邊嘉章、戸田啓介、馬場啓至  
第51回日本てんかん学会学術集会 (2017.11.3-5、京都市)

てんかん外科：小児  
小野智憲  
第40回日本てんかん外科学会 (2017.1.26-27、大阪)

後方皮質の異常によるてんかん性脳症：てんかん外科治療による認知機能や行動異常の改善  
小野智憲、戸田啓介、本田涼子、馬場啓至  
第40回日本てんかん外科学会 (2017.1.26-27、大阪)

パラソルハンガーによる経鼻腔的穿通性脳幹損傷一初期診療時の病態把握が難しかった一例—  
佐藤 慧、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介  
第22回日本脳神経外科救急学会 (2017.2.3-4、高松)

Basedow病に合併した脳静脈洞血栓症の1症例

川原一郎、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅

第22回日本脳神経外科救急学会 (2017.2.3-4、高松)

速やかな改善が見られた著明な脱水に伴う脳静脈洞血栓症の1症例

川原一郎、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅

第127回県北脳神経懇話会 (2017.2.28、佐世保)

速やかな改善が見られた著明な脱水に伴う脳静脈洞血栓症の1症例

川原一郎、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅

第40回日本脳神経CI学会 (2017.3.3-4、鹿児島)

非典型的/非外傷性頭蓋内出血の一例

佐藤 慧、本田和也、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第32回長崎脳神経疾患治療研究会 (2017.3.6、長崎)

Callosotomy: indications and techniques

小野智憲

The 2nd WFNS Foundation RabatLive Surgery Seminar for Young African Neurosurgeons (2017.3.9, Rabat, Morocco)

Multilobar disconnective epilepsy surgery

小野智憲

The 2nd WFNS Foundation RabatLive Surgery Seminar for Young African Neurosurgeons (2017.3.9, Rabat, Morocco)

Surgery for epilepsy due to medial temporal tumor

小野智憲

The 2nd WFNS Foundation RabatLive Surgery Seminar for Young African Neurosurgeons, (2017.3.9, Rabat, Morocco,)

新生破裂動脈瘤による頭蓋内出血を来したTwig-like networkを伴う中大脳動脈主幹部 (M1) 形成不全の1例

酒井洸典、日宇 健、佐藤 慧、本田和也、福田雄高、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第125回日本脳神経外科学会九州支部会 (2017.3.11、福岡)

Twig-like networkを伴う中大脳動脈主幹部 (M1) 形成不全 — 頭蓋内出血で発症する病態の多様性について

日宇 健、松永裕希、福田雄高、平山航輔、吉村正太、柚川知香、佐藤 慧、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第46回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2017.3.16-18、大阪市)

著明な脱水に伴う脳静脈洞血栓症の1症例

川原一郎、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅

第42回日本脳卒中学会学術集会 (2017.3.16-19、大阪市)

脳血管障害領域における舌骨の重要性について

川原一郎、豊田啓介、広瀬 誠、北川直毅

第46回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2017.3.16-18、大阪市)

脳炎関連てんかんと外科治療

小野智憲

第24回九州山口てんかん外科研究会 (2017.3.18、福岡)

急性期より復職を目指し回復期病院との連携を図った1症例

加藤友里夏、川原一郎、塚本倫央、堤 正和、久保宏記、平山翔悟、梶川大輔、平山大輔、本竹由香里

第42回日本脳卒中学会学術集会 (2017.3.16-19、大阪市)

Frequent vomiting attacks in a patient with Lhermitte-Duclos disease: a rare pathophysiology of cerebellar lesions?

Somagawa C, Ono T, Honda R, Baba H, Hiu T, Ushijima R, Toda K, Sato K, Ito M, Tsutsumi K

14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology (2017.5.12、福岡)

ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)に対するリバーロキサバンの有用性

日宇 健、柚川知香、堤 圭介

長崎県央VTE治療カンファランス (2017.5.31、大村)

側副血行路内の破格網状血管に起因する脳出血で発症したと考えられる内頸動脈C1部形成不全の1例

大園恵介、樋上翔大、牛島隆二郎、内田大貴、日宇 健、川原一郎、小野智憲、戸田啓介、堤 圭介

第126回日本脳神経外科学会九州支部会 (2017.6.17、鹿児島市)

Lennox-Gastaut syndromeにおける非定型欠神発作群発/重積状態に対する準緊急的脳梁離断術  
小野智憲、下野昌幸、本田涼子、渡邊嘉章、内田大貴、馬場史郎、馬場啓至  
第12回日本てんかん学会九州地方会（2017.7.8、熊本）

けいれん発作後 Todd's paresis における MRI arterial spin labeling による脳血流評価  
馬場史郎、小野智憲、諸藤陽一、立石洋平、小野智憲、戸田啓介、馬場啓至、案田岳夫、  
辻野 彰、松尾孝之  
第12回日本てんかん学会九州地方会（2017.7.8、熊本）

抗凝固薬の適正使用-頭蓋内出血例を含む-  
日宇 健、大園恵介、川原一郎、本田和也、内田大貴、小野智憲、牛島隆二郎、溝田繁治、  
堤 圭介  
プリズバインド発売記念講演会（2017.7.11、大村）

Corpus callosotomy: indications and techniques.  
小野智憲  
st Dazaiu International Neurosurgical Meeting（2017.7.23、太宰府市）

てんかん外科とdeveloping brain  
小野智憲  
備後てんかんを考える会（2017.8.31、福山）

横-S状静脈洞部硬膜動静脈瘻に対してNBCAを用いた経静脈的塞栓術 (TVE)にて根治し得た  
一例  
日宇 健、大園恵介、川原一郎、堀江信貴、小野智憲、牛島隆二郎、堤 圭介  
第26回日本脳神経血管内治療学会九州地方会（2017.9.2、福岡）

てんかんのプライマリ・ケア  
小野智憲  
諫早医師会学術講演会（2017.9.22、諫早）

鏡面像を呈した前大脳動脈遠位部の極小破裂瘤の1症例  
川口雄太、川原一郎、大園恵介、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、堤 圭介  
第127回日本脳神経外科学会九州支部会（2017.10.21、長崎市）

fficacy of Drip, Ship, Retrieve Method by Helicopter Transportation and Teleradiology for Acute  
Ischemic Stroke in Isolated Islands, Nagasaki Prefecture, Japan.  
Hiu T, Ozono K, Kawahara I, Nakamichi C, Iwanaga H, Honda K, Ono T, Ushijima R, Tsutsumi K.  
13th International Conference on Cerebrovascular Surgery（2017.10.27-29、名古屋市）

Cognitive development after epilepsy surgery of the posterior cortex in patients with West syndrome.  
Ono T, Baba H, Honda R, Toda K, Watanabe Y, Baba S, Koshimoto R, Ishida K, Wada M, Adachi K.  
第51回日本てんかん学会学術集会（2017.11.3-5、京都市）

Latent fast oscillations and phase synchronization in hypsarrhythmia can predict seizure outcome in children with infantile spasms after corpus callosotomy.  
Baba S, Vakorin VA, Doesburg SM, Nagamori C, Nakajima M, Ochi A, Honda R, Ono T, Toda K, Baba H, Ostubo H.  
第51回日本てんかん学会学術集会（2017.11.3-5、京都市）

難治性てんかん患者に対するペランパネルの使用経験  
松尾光弘、小野智憲、藤井明子、小野智憲、馬場啓至、戸田啓介、松坂哲應  
第51回日本てんかん学会学術集会（2017.11.3-5、京都市）

DOAC服用中に発症する脳内出血の臨床的特徴  
日宇 健、大園恵介、川原一郎、本田和也、溝田繁治、小野智憲、牛島隆二郎、堤 圭介  
第60回日本脳循環代謝学会学術集会（2017.11.3-4、大阪）

周生期の脳表在性出血によると考えられた乳児てんかん患者の一手術例：臨床病理学的検討  
本田涼子、宮田 元、小野智憲、戸田啓介、池田憲呼、安 忠輝、田中茂樹、伊藤正博、馬場啓至  
第51回日本てんかん学会学術集会（2017.11.3-5、京都市）

併存症  
小野智憲  
第51回日本てんかん学会学術集会（2017.11.3-5、京都市）

緩和手術における脳梁離断術の有用性  
戸田啓介、小野智憲、本田涼子、渡邊嘉章、内田大貴、馬場啓至  
第51回日本てんかん学会学術集会（2017.11.3-5、京都市）

近年における高齢者破裂脳動脈瘤治療法選択の動向-長崎くも膜下出血研究会データに基づく後方視的検討  
日宇 健、川原一郎、小野智憲、堤 圭介、堀江信貴、出雲 剛、林 健太郎、北川直毅、陶山一彦、上之郷眞木雄、松尾孝之  
第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2017.11.23-25、東京）

胸腰椎硬膜動静脈瘻に対してハイブリッド手術を行うことで安全かつ確実な治療成績を得られた一例

大園恵介、角田圭司、牛島隆二郎、日宇 健、川原一郎、小野智憲、堤 圭介  
第28回脊髄疾患動画技術研究会（2017.11.25、滋賀）

てんかん診療をはじめよう！プライマリケア医とてんかんセンターの協力  
小野智憲

山口てんかん勉強会（2017.11.25、宇部市）

明日から使える脳MRI解剖学ミニレクチャー  
小野智憲

山口てんかん勉強会（2017.11.25、宇部市）

Cognitive development after epilepsy surgery of the posterior cortex in patients with West syndrome.  
Ono T, Baba H, Honda R, Toda K, Watanabe Y, Baba S, Koshimoto R, Ishida K, Wada M, Adachi K.  
American Epilepsy Society 71st Annual Meeting, (2017.12.2, Washington DC,USA.)

Lateralizing value of asymmetric neck flexion and limb movements revealed after corpus callosotomy in children with epileptic spasms.

Uchida D, Ono T, Ryoko H, Watanabe Y, Toda K, Baba H.

American Epilepsy Society 71st Annual Meeting, (2017.12.2, Washington DC,USA.)

Callosotomy: indications and techniques.

Ono T

WFNS Foundation Hanoi Live Surgery Seminar, (2017.12.17, Hanoi, Vietnam.)

primary intraventricular hemorrhageにて発症した上矢状静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例

大園恵介、日宇 健、川原一郎、小野智憲、牛島隆二郎、堤 圭介、堀江信貴  
第35回長崎脳神経外科研究会（2017.12.23、長崎市）

#### （8）共同研究

H28-NHO-01計算流体力学（CFD）解析を用いた内頸動脈狭窄症における血行力学的因子の役割研究

（主任研究者：福田俊一；共同研究者：堤 圭介）



(9) 競争的研究費

てんかん脳におけるグリア細胞機能の発達プロファイリング：手術摘出標本を用いたグリア細胞と興奮性アミノ酸トランスポーター発現レベルの観察

(てんかん治療研究振興財団；主任研究者：小野智憲)

(10) 院内研究

Nagasaki Medical Center-Stroke Hotline (NMC-SHOT)導入による急性期脳梗塞診療への効果の臨床的検討

(平成29年度 長崎医療センター院内臨床研究：日宇 健)

(11) 社会活動・資格・役員

戸田啓介 日宇 健	活水大学看護学部（非常勤講師）
牛島隆二郎	向陽学園看護専攻科（非常勤講師）
小野智憲	Translational Research Task Force (Task 3/EEG) International League Against Epilepsy and American Epilepsy Society, 2014-present (Chair) Epilepsia Open (The journal of the International League Against Epilepsy, 2016-present) (Editorial Board)

## 長 崎 県 島 原 病 院

(〒855-0861 島原市下川尻町7895 院長 徳永能治)



### 【現況報告】

#### ■ 特色

当院脳神経外科は、昭和48年4月長崎県内で最初に開設されました。現在先進の充実した診断治療機器（超伝導高磁場MRI（2台）、高速ヘリカルCT、脳血流測定SPECT、頸動脈超音波装置、血管内手術用3次元撮影DSA、定位放射線治療用LINIAC radiosurgery装置、顕微鏡手術システム、神経内視鏡、ナビゲーションシステム）を備え、2名の脳神経外科専門医を中心に脳神経外科全領域に対応可能です。

研修医、卒後レジデントの脳神経外科研修や勤務を希望する医師に対しては、教育受け入れ態勢も整い、熱心な指導を受けられます。

外来は月曜から金曜まで対応しています。島原半島の脳疾患急患に対しては、救急車、かかりつけ医とのホットラインを用い24時間対応しています。入院病床数は29床です。年間入院患者数は500人程度です。

疾患の特徴として脳卒中が多く、平成21年3月より長崎県高次脳卒中センターの認定を受け脳梗塞急性期治療の受け入れ態勢や治療成績が更に改善いたしました。保存的治療として組織プラスミノゲンアクチベーターによる血栓溶解治療・脳血管内治療による血栓回収術を行なっています。外科的治療では脳出血に対しての開頭血腫除去術、定位的脳内血腫除去術をはじめ、脳動脈瘤に対して脳動脈瘤クリッピング術、血管内コイル塞栓術を行い、虚血性脳血管障害に対して脳血管吻合術、内頸動脈内膜剥離術、頸動脈ステント留置術、選択的

血栓溶解術を今後も引き続き行っていきます。脳腫瘍に対して脳腫瘍摘出術、化学療法や放射線治療を行いません。またリニアック定位放射線治療用装置による最新で低侵襲短期間の入院治療が可能です。リニアック定位放射線治療では、脳動静脈奇形、聴神経鞘腫、転移性脳腫瘍などの症例に著明な成果を示しています。機能的脳神経外科手術として顔面痙攣や三叉神経痛に対する神経血管減圧術を行い、早期症状消失しています。また神経内視鏡、手術ナビゲーションシステムを導入し、最先端の脳外科手術に対応しております。

急性期リハビリに関しては、この地区の高齢者の比率が増加しており、疾患そのものの治療と同時に早期離床と廃用や合併症の積極的予防を短期間に実施することが必要とされています。また急性期を過ぎた患者が回復期、維持期のリハビリへ円滑に移行することが必要とされ、転院後も原疾患の長期的フォローが反復継続されなければならないと思われます。当科の試みとして、第1に脳卒中入院に早期にリハビリを開始し、退院までの間に生活機能を評価し進歩の程度と課題を明瞭にするようにしています。また集中治療室でのモニター下での早期離床、廃用症候群予防リハビリテーションを試みています。第2に医師、療法士、薬剤師、看護師、医療ソーシャルワーカー、栄養士、臨床工学技師と共に多くのスタッフで治療できるよう勤めています。第3に当院転院後の回復期リハビリを担う近隣病院・施設との連携を深めるため、脳卒中地域連携パスを運用しております。

今後とも島原半島の神経疾患の中核的施設として周辺の多くの施設の御協力を頂きながら神経疾患の急性期治療に貢献できるよう努力します。

(記 山口 将)



【業績】

(1) 医師数 4 (専門医 2)

徳永能治、野田 満、平山航輔、吉村正太

(2) 病床数 29

(3) 入院症例数 524

(4) 手術症例数 104

脳腫瘍 ..... 5

脳血管障害 ..... 18

破裂動脈瘤 13

未破裂動脈瘤 5

高血圧性脳内出血 ..... 5

外傷 ..... 46

急性硬膜下血腫 3

慢性硬膜下血腫 43

水頭症 ..... 4

脳神経減圧術 ..... 1

その他 ..... 25

(5) 定位的放射線治療症例数 (転移性脳腫瘍) 0

(6) 血管内手術症例数 14

動脈瘤塞栓 ..... 12

閉塞性脳血管障害 ..... 2

(7) 剖検数 0

(8) 論文

救急医療にかかわる機関・施設の地方における役割・連携と未来像  
徳永能治

救急医学 41(4): 416-422, 2017

みる医療、聴く医療、伝える医療

徳永能治

長崎県医師会報 第852号;平成29年1月号, p.35, 2017

みる医療、聴く医療、伝える医療

徳永能治

山梨県医師会報 No.557;平成29年5月号, p.75, 2017

Azygos anterior cerebral artery分枝のinfundibular dilation部に新生した破裂微小脳動脈瘤の1例

吉村正太 杉川知香、佐藤 慧、福田雄高、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

No Shinkei Geka 45(10): 897-904, 2017

#### (9) 学会発表

健康寿命を延ばすために今やるべきことー医療の視点から見た健康寿命の延伸ー

徳永能治

第28回長崎県理学療法学会in島原 市民公開講座 (2017.2.19、南島原市)

「回復期から生活期までのリハビリテーション効果に関する実態調査」【特別報告】

徳永能治

リハビリテーション・ケア合同研究大会久留米2017 (2017.10.19、久留米市)

最近の脳卒中の診療概要

徳永能治

第69回島原リハネット症例検討会 (2017.8.24、島原市)

脳梗塞予防の重要性について～地域医療を踏まえて～

徳永能治

南高医師会学術講演会 (2017.7.26、南島原市)

島原病院における脳卒中患者の動向

徳永能治

ストップ！NO卒中プロジェクトエリア会議in島原 (2017.10.13、島原市)

脳卒中の予防と治療

野田 満

脳卒中市民公開講座 (2017.8.26、島原市)

脳卒中について

平山航輔

健康フェスタ ミニ講座 (2017.10.28、島原市)

頭痛

吉村正太

第68回島原リハネット症例検討会 (2017. 6. 22、島原市)

脳室内出血で発症した松果体部脳動静脈奇形の1例

吉村正太、野田 満、平山航輔、徳永能治

第127回日本脳神経外科学会九州支部会 (2017.10.21、長崎市)

GH正常値の先端巨大症の1例

吉村正太、野田 満、平山航輔、徳永能治

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017.12.23、長崎市)

(10) 社会活動

徳永能治	日本リハビリテーション病院施設協会 (理事) 日本リハビリテーション病院施設協会調査・検討委員会 (委員長) 地域の包括的な医療に関する研究会 (理事) 長崎県保健医療対策協議会 (委員) 長崎県メディカルコントロール協議会 (委員) 長崎県医師会勤務医部会 (委員) 長崎県がん診療連携協議会 (委員) ながさき治験医療ネットワーク委員会 (委員) 長崎県国民保険診療報酬審査委員会 (委員、専門部会委員) 長崎県ドクターヘリ運航調整委員会 (委員) 長崎県脳卒中検討委員会 (委員) 島原市医師会 (理事) 島原市医師会看護学校 (非常勤講師) FMしまばら：健やか相談室 (相談員) 島原リハビリテーションネットワーク (世話人会長) 島原市防災会議 (委員) 島原市健康づくり推進協議会 (委員) 県南地域保健医療対策協議会 (委員) 県南保健所地域リハビリテーション連絡協議会 (委員) 島原市国民保護協議会 (委員) 長崎大学医学部 (臨床教授)
------	---

野田 満	島原市医師会看護学校（非常勤講師）
平山航輔	島原市医師会看護学校（非常勤講師）
吉村正太	島原市医師会看護学校（非常勤講師）

## 済生会長崎病院

(〒850-0003 長崎市片淵2-5-1 部長 原口 渉)

### 【現況報告】

#### 《済生会長崎病院の特徴》

当院では2009年4月に脳神経外科が新設され、同年8月に現在の新病院へ移転してから脳神経外科医2人体制で診療を行っております。主な対象疾患は脳卒中や頭部外傷です。地域医療支援病院の立場から、周辺地域である長崎中央区の症例が多いのですが、近くに長崎自動車道や長崎バイパスのインターがあり、アクセスも良いことから長崎北区からの救急搬送も少なくありません。

済生会は生活困窮者を救済しようと明治天皇が設立され、当院もそのグループの一員として「無料低額診療」を推進し、特別な事情を抱えている方々に無料もしくは低額の料金で医療を提供しております。当院は205床全てが個室で、12床はHCU、41床は包括病棟として運用しています。



#### 《診療実績と教育・啓蒙活動》

当院は長崎市内の脳神経外科対応可能な2次救急病院のひとつとして診療を行っております。2017年の当科入院患者数は384例、うち手術件数は36例、血管内治療は4例で、手術症例数は少ないですが、受け持つ症例に対する最善の治療を常に考えながら日々診療にあたっております。より最善の治療が必要と考えれば、長崎大学病院や関連病院の先生方に相談させて頂いております。

当科では研修医とクリクラの学生が、各々年間4～5人ほど研修に回ってきます。外来、病棟、救急室での診療、手術や血管内治療を実習してもらい、脳卒中診療を中心に疾病の理解や診療の基本の理解と習得を目標に指導を行っております。

その他、脳卒中を中心とした院内勉強会を定期的開催しコメディカルの育成をすすめ、地域住民向けには健康講座を行い脳卒中の予防や初期対応などの啓蒙活動に勤めています。

地域医療に少しでも貢献できるよう、これからも頑張っていきます。

(記 宗 剛平)



【業績】

(1) 医師数 2 (専門医 2)

原口 渉、宗 剛平

(2) 病床数 20～30

(3) 入院症例数 384

(4) 手術症例数 36

Hypertensive ICH ..... 2

Head trauma ..... 29

    Acute subdural hematoma 5

    Chronic subdural hematoma 24

V-P shunt ..... 1

Ventricle drainage ..... 1

External decompression ..... 1

Carotid end arterectomy ..... 1

Others ..... 1

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 4

Aneurysm ..... 2(SAH 1)

ICA stenosis ..... 1

Trauma(Chronic subdural hematoma) ..... 1

(7) 剖検数 0

(8) 論文 0

(9) 学会発表

認知症？脳神経外科の手術で治る病気について

原口 渉

長崎北公民館 春の講座 (2017.7.15、長崎)

脳卒中診療について 病院前・救急室～専門的治療

原口 渉

第19回地域意見交換会 (2017.7.26、長崎)

脳血管障害の治療

宗 剛平

済生会長崎病院脳卒中地域連携セミナー (2017.5.19、長崎市)

慢性硬膜下血腫の穿頭血腫除去術後に生じた硬膜下膿瘍の1例

宗 剛平、原口 渉、木下直江

第127回日本脳神経外科学会九州支部会 (2017.10.21、長崎市)

破裂脳動脈瘤コイル塞栓術の治療成績

宗 剛平、原口 渉

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2017.11.24、東京)

コイル塞栓術を施行した前大脳動脈A1窓形成部の破裂脳動脈瘤の1例

宗 剛平、原口 渉

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017.12.23、長崎市)

(10) 社会活動

第32回長崎ISLSコース

済生会長崎病院 (2017.5.28)

第34回長崎ISLSコース

済生会長崎病院 (2017.12.3)

## 長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター

(〒859-3615 東彼杵郡川棚町下組郷2005-1 部長 戸田啓介)

### 【現況報告】

長崎川棚医療センターは2017年7月に6階建ての新病棟が稼働しはじめました。私が同年6月に着任し、8月末までは浦崎永一郎先生と、9月から2018年3月末までは石坂俊輔先生と、常勤1＋非常勤2の変則体制で診療を行ってきました。2018年4月からは野田満先生が常勤として着任され、脳外科2名体制が復活しています。

東彼杵郡は、佐世保、大村、嬉野に囲まれ、また決して人口が多いとはいえない医療圏ですが、長崎川棚医療センターは高齢者が多い東彼地区の二次救急病院としての機能を担っています。初代神経センター部長の山川勇造先生、次代の浦崎先生らが築き上げた川棚脳外科のよき伝統を踏襲しながら、これからの新しい体制を野田先生とともに築き上げたいと考えています。

幸いなことに、当院でも長時間脳波ビデオモニタリングが実施出来ることとなり、現在 EMU (Epilepsy Monitoring Unit) 設立の準備を行っています。てんかんは common disease であり、県北地区においても数多くの患者さんがいます。てんかん診断をはじめとする治療方針の決定、心因性非てんかん性けいれん (PNES) とてんかんの鑑別、外科治療適応の決定など、様々な局面でビデオモニタリングシステムが役に立つと考えています。てんかんのみならず東彼地区での二次救急病院としての機能を果たしつつ、東郷平八郎の書「養気軒 (病む人の病のみならず、心をも癒やすことの出来るところ)」の精神で診療を行いたいと考えています。

最後に2019年2月23 (土)、24日 (日) の2日間、長崎大学医学部記念講堂および良順会館を中心に私が会長を務め「全国てんかんセンター協議会 (JEPICA) 総会」を開催します。これはてんかん診療に携わる医師のみならず、看護師、理学療法士、臨床心理士など多職種が集う協議会です。同門の先生方にも是非ご参加いただきたくご案内申し上げます



※4月に赴任した野田先生、外来スタッフを中心に。  
後列中央の男性は4月より派遣された Nurse Practitioner (NP) です。



※新病院屋上にはヘリポートが設置されています。先日、長崎医療センターと連携し患者搬送のシミュレーションを行いました。画面奥に見えるのが「九州のmatterホルン」と呼ばれている？ 虚空蔵山（標高608m）です。ヘリの下でスマホを構えているのが宮下光世院長です。

（記 戸田啓介）

【業績】

(1) 医師数 3 (専門医 3)

浦崎永一郎、戸田啓介、石坂俊輔

(2) 病床数 15～20

(3) 入院症例数 193

(4) 手術症例数 108

脳・脊椎脊髄腫瘍摘出 .....	1
脳脊髄血管疾患 .....	10
脳動脈瘤クリッピング	7
CEA	1
ICH除去	2
脊椎疾患(変性/OPLL) .....	18
頸椎	9
腰椎	9
外傷 .....	18
慢性硬膜下血腫	17
脊椎骨折	1

機能外科手術	26
DBS-IPG植込み,交換	21
頑痛症	
SCS-IPG植込み,交換	5
てんかん	3
脳梁離断	1
迷走神経刺激装置植込	1
迷走神経刺激装置交換	1
シヤント術	7
L-P	7
末梢神経手術	15
手根管症候群	12
肘部管症候群	3
その他	10
脳室ドレナージなど	10

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 論文

脳卒中後の治療介入時期に着目した運動野刺激療法の上肢麻痺改善効果：A feasibility and safety study.

藤岡裕士、泉原昭文、浦崎永一郎、原 昌司、空田剛彦、中村龍二、松尾秀徳、山下勝弘  
臨床神経生理学45(1):1-9,2017

Engel's classification (エンゲルの分類)

戸田啓介

『てんかん学用語事典 改訂第2版. 一般社団法人 日本てんかん学会編』診断と治療社  
(東京) : pp.43-44, 2017

(9) 学会発表

経仙骨裂孔的硬膜外刺激で治療した高度脊椎変形による頑痛の1例

浦崎永一郎、石坂俊輔

第56回日本定位・機能神経外科学会 (2017.1.28、大阪市)

脊椎脊髄外科経験が役だった機能神経外科手術の3例

石坂俊輔、浦崎永一郎

第32回日本脊髄外科学会 (2017.6.1、横浜市)

腰椎棘突起・傍脊柱筋再建の工夫—棘突起3分割再建法

浦崎永一郎、石坂俊輔

第32回日本脊髄外科学会 (2017.6.2、横浜市)

経仙骨裂孔的硬膜外刺激で治療した高度脊椎変形による頑痛の1例

浦崎永一郎、石坂俊輔

第25回九州・山口機能神経外科セミナー (2017.8.26、山口市)

VEPモニタリングが有用であった未破裂内頸動脈眼動脈分岐部瘤の1例

石坂俊輔、津田真美、浦崎永一郎

第61回佐世保脳神経外科医会 (2017.2.21、佐世保市)

椎間孔外アプローチにて脊髄刺激電極を留置しえた難治性神経障害性疼痛の1例

石坂俊輔、浦崎永一郎

第62回佐世保脳神経外科医会 (2017.4.21、佐世保市)

腰椎棘突起・傍脊柱筋再建の工夫—棘突起3分割再建法

浦崎永一郎、石坂俊輔

第63回佐世保脳神経外科医会 (2017.6.21、佐世保市)

パーキンソン病の治療～パーキンソン病200年 わかったこと、わからないこと、そして治療～「パーキンソン病の外科治療」

浦崎永一郎

パーキンソン病市民公開講座in佐世保 (2017.2.25、佐世保市)

広範囲DREZotomyを施行した脊髄損傷後疼痛患者の経過

浦崎永一郎、石坂俊輔

第127回県北神経懇話会 (2017.2.28、佐世保市)

脳梁離断術の役割：焦点を明確にする手段としての脳梁離断【シンポジウム4 てんかん外科治療法の進歩】

戸田啓介、小野智憲、馬場啓至、本田涼子  
第40回日本てんかん外科学会（2017.1.27、大阪市）

発作時言語自動症を呈した右側頭葉てんかんの1例

戸田啓介  
東彼杵郡医師会火曜会 生涯教育講座（2017.8.8、東彼杵郡）

側頭葉てんかん症例による発作時言語症状の考察

戸田啓介、小野智憲、内田大貴、馬場啓至  
第25回九州・山口機能神経外科セミナー（2017.8.26、山口市）

MRI-negative epileptic spasm手術症例の神経組織学的検討

戸田啓介、小野智憲、内田大貴、馬場啓至  
日本脳神経外科学会第76回学術総会（2017.10.12-14、名古屋市）

緩和手術における脳梁離断術の有用性【ワークショップ6 てんかん外科】

戸田啓介、小野智憲、本田涼子、渡邊嘉章、内田大貴、馬場啓至  
第51回日本てんかん学会学術集会（2017.11.4、京都市）

発作時言語自動症を呈した右側頭葉てんかんの1例

戸田啓介  
第65回佐世保脳神経外科医会（2017.11.21、佐世保市）

難治性てんかんに対する脳梁離断術

戸田啓介  
第10回和歌山てんかん研究会（2017.1.28、和歌山市）

難治性てんかんに対する抗てんかん薬 update

戸田啓介  
てんかん薬物治療セミナー（2017.3.10、長崎市）

施設紹介 『長崎医療センター てんかんセンター』

戸田啓介  
第24回九州山口てんかん外科研究会（2017.3.18、福岡市）

てんかんに対する外科治療

戸田啓介

第342回県北臨床内科医回学術講演会（2017.11.16、佐世保市）

てんかんの外科治療【特別講演】

戸田啓介

脳と心と波の会（2017.11.24、武雄市）

てんかんの外科診療～てんかん外科のこれまでとこれから～

戸田啓介

第9回川棚神経科学の会（2017.12.9、東彼杵郡）

（10）その他の業績

戸田啓介	日本てんかん学会（評議員） 佐賀大学医学部医学科（臨床教授） 長崎大学医学部（講師）
------	--



## 十善会病院

(〒850-0905 長崎市籠町7-18 院長 笠 伸年)

## 【現況報告】

十善会病院の移転新築オープン（予定日）までちょうど3年となりました。少子高齢化、人口減少社会、医療技術の進歩等々、日本の社会情勢、医療環境の変化に即応し長崎の地域医療に貢献出来る病院を作るべく、職員一同、知恵を絞って新病院の具体的な計画を練っているところです。先日長崎原爆病院の新病院（本館）落成記念式典、内覧会に行ってきた。地上15階の偉容のみでは無く、内部の豪華な造り、内装にも非常に感心しました。より規模の小さい個人病院である当院は経済規模の違いもあって、新病院に豪華さ華やかさは求めるべくありませんが、実用に即した、真に患者様に優しい、職員にも働きやすい病院にすべく頑張っていきたいと思えます。そして距離的に近い原爆病院や井上病院と協力しながら、脳神経外科では大学病院、みなとメディカルセンター、済生会長崎病院と力を併せて、お互いに補完しつつ長崎の脳神経外科医療に貢献していけたらと考えております。

新病院に向けて、何と言っても健康であることが重要と考え、今年には自分の身体のオーバーホールをすべく、胸の手術（その節は大学の先生方には大変お世話になりました）、白内障手術を行い、更には虫歯の徹底的治療が進行中です。同僚の清水先生も一見不健康、不摂生の塊のように見えますが、意外と健康体であるらしく頼もしく思っています。そうは言っても2人とも高齢ですので、若さと最新の脳神経外科知識、技術を持った先生方を待っております。一緒に新病院で（その準備段階から、即ち今からでも）頑張りましょう。

今年には14人の新人看護師が当院に就職し、その内脳神経外科病棟には4人が配属されました。歓迎会で希望に満ちた新人達の顔を見て、益々やる気が出てきました（そしていつものごとく酔っぱらいました）。

深緑が眼に眩しい季節になりました。皆様どうかご自愛下さい。

(十善会病院 笠 伸年)



脳神経外科病棟新人看護師歓迎会

【業績】

(1) 医師数 2 (専門医 2)

笠 伸年、清水 正

(2) 病床数 30

(3) 入院症例数 576

(4) 手術症例数 109

brain tumor .....	8
meningioma	7
pituitary adenoma	1
ruptured aneurysm (craniotomy) .....	4
ICA	3
Acom	1
unruptured aneurysm (craniotomy) .....	11
ICA	3
MCA	4
Acom	1
ACA	2
Multiple	1
Hypertensive ICH .....	5
STA-MCA anastomosis .....	7
CEA .....	9
Head trauma .....	53
Acute epidural hematoma	2
Acute subdural hematoma	3
Chronic subdural hematoma	46
Contusional hematoma	2
Trigeminal neuralgia .....	1
V-P shunt .....	6
V-A shunt .....	1
Drainage .....	1
Others .....	3

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 学会発表

皮質下血腫に対する開頭血腫除去術から1週間後に多発性神経障害を来した1症例

笠 伸年、清水 正

第126回日本脳神経外科学会九州支部会 (2017.6.17、鹿児島)

retrospectiveに比較的急速な増大が確認された髄膜腫の3例

笠 伸年、清水 正

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017.12.23、長崎市)

(9) 社会活動

笠 伸年	長崎救急医学会 (理事) 長崎県メディカルコントロール協議会 (委員)
清水 正	高次脳機能障害支援連絡協議会 (委員)

## 長崎みなとメディカルセンター

(〒850-8555 長崎市新地町6-39 部長 陶山一彦)



### 【現況報告】

当センターが開設されて4年、院内の救急システムがなかなか軌道に乗らないにもかかわらず2017年の救急搬入数は県下1となりました。疲弊する傍らで、歩いて飲みに出るのが楽しみと言える今日この頃です。一步外へ出ると季節感漂う装飾が多数あります。また当院屋上のヘリポートからの景色は格別で、港を挟んで稲佐山や女神大橋が眼前に広がります（柵が無いので近づくと怖い）。

2018年4月には専門医を取得した定方医師を迎えました。外科医・血管内治療医として大きく活躍する事を願っています。最近は脳神経内科だけでなく、当科へ回ってくる研修医も出てきました。若い医師への魅力はもちろん大切ですが、学会からの制約を鑑み、いわゆる外科として治療に専念できるような環境(施設)作りを目ざしたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

(記 陶山 一彦)



## 【業績】

(1) 医師数 3 (専門医 3)

陶山一彦、八木伸博、山口 将

(2) 病床数 26

(3) 入院症例数 343

(4) 手術症例数 215

meta	2
ruptured aneurysm	13
unruptured aneurysm	2
hypertensive ICH	44

craniotomy	18
endoscopic	5
stereotactic	2
drainage	19

CEA	8
STA-MCA bypass	6
trauma	80

ASDH	8
CSDH	72

shunting	18
decompressive craniectomy	15
cranioplasty	19
abscess	2
others	6

(5) 定位的放射線治療症例数 39

meningioma	7
pituitary	2
acoustic neurinoma	3
meta	27

(6) 血管内手術症例数 28

coiling	7
CAS	5
EVT	13

dural AVF	1
others	2

(7) 剖検数 0

(8) 論文

Rapid recanalization using TrevoProVue through a 4.2 Fr catheter without a guiding catheter via transbrachial approach: A case report

Yamaguchi S, Horie N, Morofuji Y, Satoh K, Suyama K

NMC Case Rep J 4(4): 97-99, 2017

(9) 学会発表

高齢者における未破裂脳動脈瘤治療の現状と変遷

陶山一彦、徳永能治、堤 圭介、上之郷眞木雄、松尾孝之

第46回日本脳卒中の外科学会 (2017.3.17、大阪市)

若年者のくも膜下出血に関する臨床的検討

陶山一彦、徳永能治、堤 圭介、上之郷眞木雄、松尾孝之

日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

脳神経外科臨床の役立つ抗凝固療法の知識【ランチョンセミナー】

陶山一彦

第127回日本脳神経外科学会九州支部会 (2017.10.21、長崎市)

心臓血管外科周術期に発症した脳卒中

八木伸博、山口 将、陶山一彦

第127回日本脳神経外科学会九州支部会 (2017.10.21、長崎市)

Age of donor of human mesenchymal stem cells dramatically affects structural and functional recovery after cell therapy following ischemic stroke.

Yamaguchi S, Horie N, Matsuo T

International Stroke Conference 2017, 2017.2.22-24, Houston, Texas, USA.)

Diffusion and T2\* weighted MR angiography (SWAN) mismatch predicts ischemic penumbra in the acute stage.

Yamaguchi S, Horie N, Matsuo T

International Stroke Conference 2017, 2017.2.22-24, Houston, Texas, USA.)

当院における高齢者脳梗塞治療の現状

山口 将、伊木勇輔、六倉和生、陶山一彦

第42回日本脳卒中学会 (2017.3.17、大阪市)

慢性硬膜下血腫に対する血管内治療

山口 将

第3回長崎脳血管内治療研究会 (2017.6.2、長崎市)

脳梗塞急性期における T2\* weighted MR angiography (SWAN) の有用性

山口 将

第33回長崎脳疾患治療研究会 (2017.7.31、長崎市)

慢性硬膜下血腫の治療 -現状と課題-

山口 将、八木伸博、陶山一彦

第25回長崎救急医学会 (2017.9.2、長崎市)

当院における動脈解離症例の検討

山口 将、八木伸博、陶山一彦

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017.12.23、長崎市)

慢性硬膜下血腫に対する内視鏡的血腫除去の経験

伊木勇輔、山口 将、陶山一彦

第32回長崎脳疾患治療研究会 (2017.3.6、長崎市)

## (10) 社会活動

陶山一彦	日本脳神経外科学会 (代議員) 日本脳卒中学会 (評議員) 日本脳循環代謝学会 (評議員) International Society for CBF & Metabolism (Regular member) 長崎県国民健康保険団体連合会 (審査委員)
------	---

# 宮 崎 病 院

(〒854-0066 諫早市久山町1575-1 理事長 宮崎久彌)

## 【業績】

(1) 医師数 4 (専門医 3)

宮崎久彌、他3名

(2) 病床数 153

(3) 入院症例数 1,078

(4) 手術症例数 170

脳腫瘍	.....	11
摘出術	5	
経蝶形骨洞術	4	
その他	2	
脳血管障害	.....	59
破裂動脈瘤	19	
未破裂動脈瘤	9	
頸動脈内膜剝離術	13	
バイパス術	4	
高血圧性脳内出血 (開頭血腫除去術)	8	
高血圧性脳内出血 (神経内視鏡)	4	
その他	2	
外傷	.....	64
急性硬膜下血腫	6	
慢性硬膜下血腫	56	
その他	2	
水頭症	.....	14
脳室シャント術	11	
その他	3	
脊椎・脊髄	.....	14
変性疾患 (変形性脊椎症)	11	
変性疾患 (椎間板ヘルニア)	1	
変性疾患 (後縦靭帯骨化症)	1	
その他	1	



機能的手術 .....	1
脳神経減圧術	1
その他 .....	7

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 9

血管内手術 .....	9
動脈瘤塞栓術（破裂動脈瘤）	2
動脈瘤塞栓術（未破裂動脈瘤）	6
動静脈奇形（脳）	1
（上記のうちステント使用例）	2

(7) 剖検数 0

(8) 社会活動

# 小 波 瀬 病 院

(〒800-0344 福岡県京都市都郡苅田町新津1598 部長 高橋治城)



脳外科病棟スタッフ ユニフォームが変わりました

## 【現況報告】

4月まで勤められていた奥永先生が行橋市に開業予定となり現在脳外科1名体制に戻りました。北九州市立八幡病院も撤退となり時代の流れとは言え孤立感は否めません。しかし当院には非常勤ながら神経内科の先生もこられており、時には神経難病のリハビリ入院やレスパイト入院も引き受けています。また摂食嚥下訓練の関連で舌癌や口腔底癌術後のリハ入院もあります。

最近が多発性脳梗塞や消化器癌による2次性サルコペニアに対する栄養管理も増えてきました。高齢化社会とともに、治療はされるけれど家に帰ることができない患者の道筋を立てることも、地域における患者ニーズに応えることと考えています。周辺機関との診療連携で地域に網を張るような医療を提供していきたいと思えます。

(記 高橋治城)

【業績】

(1) 医師数 2 (専門医 2)

高橋治城、奥永知宏

(2) 病床数 40

(3) 入院症例数 271

(4) 手術症例数 74

ruptured aneurysm .....		3
	ICA	1
	MCA	2
unruptured aneurysm .....		3
	ICA	1
	MCA	2
hypertensive ICH .....		7
	craniotomy	2
	stereotactic	5
head trauma .....		44
	acute subdural hematoma	5
	chronic subdural hematoma	39
	acute epidural hematoma	0
	intracerebral hematoma	0
ventricular drainage .....		6
V-P shunt .....		6
L-P shunt .....		1
decompressive craniotomy .....		1
cranioplasty .....		2
brain tumor .....		1
	craniotomy	1

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 6

aneurysm .....	3
CAS .....	3

(7) 剖検数 0

(8) 論文

入院後食欲不振患者には味覚障害が高率に存在する  
高橋治城

Medical Nutritionist of PEN Leaders 1(1), 44-48, 2017

(9) 学会発表

入院後食欲不振患者の味覚障害と微量元素の関連

高橋治城

第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会 (2017.2.24、岡山)

経腸栄養について

高橋治城

第9回研修医のための北九州地区臨床栄養セミナー (2017.11.25、北九州)

乳癌骨転移を契機に診断されたLhermitte-Duclos diseaseを伴ったPTEN過誤腫症候群の一例

高橋治城、奥永知宏

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017.12.23、長崎市)

# 福岡青洲会病院

(〒811-2316 福岡県糟屋郡粕屋町長者原西4-11-8 部長 谷 政治)



福岡青洲会病院 空から

## 【現況報告】

以前もご紹介いたしました、福岡青洲会病院は長崎県平戸市田平町の青洲会病院をルーツとする現・社会医療法人青洲会グループに属する福岡地区の病院で、平成5年12月6日に開院し、第3代院長を務められた長崎大学脳外科同門の桑原正憲先生の働きかけで平成9年より長崎大学脳外科の関連病院となりました。213床の急性期および回復期病院であり、勤務する医師の出身校は長崎大学のほか、自治医科大学、防衛医科大学校、九州大学、福岡大学など様々ですが、常勤医師の約半数が長崎大学出身者または長崎県出身者です。また、今も当院常勤医が交代で平戸の青洲会病院の診療応援にあたって長崎の地域医療に貢献しており、福岡にありながら長崎とは縁の深い病院です。

当院は以前から臨床研修病院として初期研修医1年次2名、2年次2名の計4名を定員として研修医教育も行って参りましたが、昨年度から長崎大学のたすきがけ病院として、研修医の受け入れを若干名ではありますが、開始しております。昨年度早速1名は、平成30年2月の1か月間脳外科も研修してくれましたが、予定手術が2件ほどしかなく、寒さにもかかわらず救急患者が予想外に少なく、2月という季節柄研修医自身がインフルエンザでダウンしてしまうという数々のアクシデントに見舞われ、脳外科の魅力を全く伝えられなかったことは痛恨の極みです。今年度も当院初期研修医4名と長崎からのたすきがけ研修医1名が研修を行っていますので、ひきつづき脳外科の魅力を発信できればと思います。また当院の先生方は大変教育熱心ですので脳外科以外の診療科でも、きっと実りの多い研修となると思います。初期研修の1年間を脳外科も含めて福岡の地で希望される先生にはぜひ当院をお勧め

ください。

当院の住所は福岡県糟屋郡粕屋町で、グーグルで眺めると周り  
は予想以上に田んぼや畑と田舎感  
満載（笑）ですが、福岡空港や博  
多駅へのアクセスは非常によく、  
風向きが良ければジェット機のエ  
ンジン音がよく聞こえるときもあ  
ります。関東・関西圏で行われる  
学会・研修会なども大変参加しや  
すいです。また近隣の人口はこの  
ご時世にもかかわらず増加してお  
り、やり方によっては脳外科診療



福岡青洲会病院 地図

の需要は計り知れません。谷/皆川の力量では現状以上に診療規模を拡大することは難しい  
のですが、（長崎大学脳外科の人材事情が厳しいことは承知のうえで）同門の先生方のお力  
添えがあればなあ・・・などと勝手なことを考えたりする今日この頃です。

（記 谷 政治）

【業績】

(1) 医師数 2（専門医 2）

谷 政治、皆川竜哉

(2) 病床数 約20

(3) 入院症例数 172

(4) 手術症例数 68

脳血管障害	.....	30
破裂動脈瘤	10	
未破裂動脈瘤	1	
高血圧性脳内出血	開頭血腫除去術	10
その他	9	
外傷	.....	35
急性硬膜外血腫	3	
急性硬膜下血腫	4	
減圧開頭術	3	
慢性硬膜下血腫	20	

	その他	5	
水頭症	.....		3
	V-Pシャント術	3	

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 学会発表

くも膜下出血の初期診療

谷 政治

院内研修医講習会 (2017.5.22、福岡)

多発性脳動脈瘤を伴った非外傷性急性硬膜下血腫の一例

皆川竜哉、谷 政治

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017.12.23、長崎市)

## 周南記念病院

(〒744-0033 山口県下松市生野屋南1-10-1 部長 本田 優)



### 【現況報告】

周南記念病院脳神経外科部長の本田です。

手術症例は別記していますが、微増中です。漸増/急増して定員増やせればと思っています。

学会発表は通年通り前田先生と留守番を割り振って行いました。昨年は京都の国際学会でも発表しました。予算の都合上数年に一度、というところでしょうか。

以前脳神経外科ジャーナル2013年12月号に報告した脳神経外科ホットラインシステムに関し、4年経過したので、ここ数年の症例に関して、再検討しました。詳細は2018年2月の脳神経外科ジャーナルに載っています。

脳卒中適合率が増加したことは喜ばしいのですが、患者共々医療スタッフの加齢も進行し、当院立ち位置含め、地域医療における脳卒中診療の実情を示す結果となりました。学会での報告でも、「大変ですね」という感想でまとめられました。

二人体制なので難しいのですが、働き方改革に応じるべく、当直翌日のOffdayの半強制的履行と、時間休・有給・リフレッシュ休暇の積極的消費をパッチワーク的に行っています。夏冬も5日間はリフレッシュを目指しますが、連続しての休みを取るにはお手伝いが必要になってきました。24/365体制は見直しの時期かもしれません。



医局派遣の前田先生も3年目となり、この春、日本脳神経血管内治療学会専門医に無事合格されました。これもひとえに松尾教授はじめとする医局スタッフの方々のおかげと感謝いたします。あとは発表したものを論文にする宿題が残っています。

論文発表に関しては、継続して行っているつもりで、関連病院の中でもスタッフ数考慮しても少ないほうではないと思います。

2017年は6年ぶりに24時間リレーマラソンに病院チームの一員として参加しました（写真）。冬のスキー用（主に白馬セミナー：今年はルスツで長野金・ソルトレーク銅メダルの里谷多英さんとお会いできました）に春から秋にかけ、走れる時はジョギングしています。



来年は、スタッフがもう一人増えて、いくらか余裕のある診療・人間としての生活が送れる・・・と思ったら、春眠暁を覚えずの中の夢でした。

（記 本田 優）

【業績】

(1) 医師数 2（専門医 2）

本田 優、前田 肇

(2) 病床数 約35

(3) 入院症例数 362

(4) 手術症例数 112（tPA含まず）

brain tumor	.....	4
	meningioma	2
	metastatic	2
ruptured aneurysm	.....	16
	ICA	7
	MCA	3
	AcomA	5

	distal ACA	1	
unruptured aneurysm	.....		4
	MCA	3	
	AcomA	1	
hypertensive ICH	.....		7
	craniotomy	7	
AVM	.....		1
ICA stenosis (carotid endarterectomy)	.....		13
ICA stenosis (STA-MCA anastomosis)	.....		2
MCA occlusion (STA-MCA anastomosis)	.....		2
head trauma	.....		31
	acute epidural hematoma	2	
	acute subdural hematoma	2	
	traumatic ICH	3	
	chronic subdural hematoma	24	
	cranioplasty	1	
hydrocephalus	.....		23
	V-P shunt	6	
	L-P shunt	3	
	ventricular drainage	10	
	shunt removal	3	
	shunt reinsertion	1	
brain abscess (craniotomy)	.....		1
external decompression	.....		2
dural plasty (CSF leakage)	.....		1
others	.....		4

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 12

infarction (PTR)	.....	1 (UK)
IC stenosis (angioplasty and stenting)	.....	2
IC pseudoaneurysm (stent and coil embolization)	.....	1
Intraaneurysmal embolization	.....	6
Spasm (PTA)	.....	2
tPA	.....	31

(7) 剖検数 0

(8) 論文

Chronic subdural hematoma: necessity of irrigation and predictive factors of recurrence .

Honda M, Maeda H

Int J Curr Med Pharm Res 3(9): 2389-2391, 2017

Right sided cerebrovascular lesions have poor cerebrovascular reactivity.

Honda M, Maeda H

J Neurol Sci 381(Suppl): 516, 2017

(9) 学会発表

当院における脳卒中の季節変動性

本田 優

第420回周薬会 (2017.1.25、下松市)

中大脳動脈近位部 (M1/M2) に狭窄を呈する脳虚血の転機

前田 肇、本田 優

第22回日本脳神経外科救急学会 (2017.2.3-4、高松市)

慢性硬膜下血腫；洗浄しないことを選択

本田 優、前田 肇

第33回白馬脳神経外科セミナー (2017.2.9-11、新潟県)

中大脳動脈近位部 (M1/M2) に狭窄を呈する脳虚血の転機

前田 肇、本田 優

第42回日本脳卒中学会 (2017.3.16-19、大阪市)

抗血小板剤・抗凝固剤内服患者の実情

本田 優

日本ベーリンガーインゲルハイム社内講習会 (2017.4.20、周南市)

当院における脳外科疾患後の運転評価とその後

前田 肇、本田 優

第127回山口県脳神経外科談話会 (2017.7.1、宇部市)

Right sided cerebrovascular lesions have poor cerebrovascular reactivity.

Masaru Honda, Hajime Maeda

XXIII World Congress of Neurology (WCN 2017). (2017.9.16-21, Kyoto)

当院における脳神経外科ホットラインの現況：2012年報告後の結果

本田 優、前田 肇

第82回院内臨床カンファランス (2017.9.21、下松市)

当院における脳外科疾患後の運転評価とその後

前田 肇、本田 優

日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

当院における脳神経外科ホットラインの現況：2012年報告後の結果

本田 優、前田 肇

日本脳神経外科学会第76回学術総会 (2017.10.12-14、名古屋市)

当院における脳神経外科ホットラインの現況：2012年報告後の結果

本田 優、前田 肇

第123回周南医学会 (2017.10.21、柳井市)

頸動脈内膜剥離術後に術野外に仮性動脈瘤を呈した一例

前田 肇、本田 優

第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2017.11.23-25、東京都)

若年者に発症した脳膿瘍の1例

前田 肇、本田 優

第58回周南地区臨床カンファランス (2017.12.1、下松市)

当院における脳神経外科ホットラインの現況：2012年報告後の結果

本田 優、前田 肇

第84回日本脳神経外科学会中国四国支部会周南医学会 (2017.12.9、下関市)

当院における脳神経外科ホットラインの現況：2012年報告後の結果

本田 優、前田 肇

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017.12.23、長崎市)

## (10) 社会活動

本田 優	山口県指定（臓器移植院内コーディネーター、難病指定医、身体障害者福祉法指定医）
前田 肇	山口県指定（難病指定医、身体障害者福祉法指定医）

## (11) 民間との共同研究

「脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討  
CSPS.com（Cilostazol Stroke Prevention Study .Combination）」

## 公立みつぎ総合病院

(〒722-0393 広島県尾道市御調町市124 院長 西村修平)

### 【現況報告】

診療体制は、松岡副院長を脳外科診療部長として、出端先生に回復期リハビリ病棟の担当を掛け持ちしてもらいながらの、脳外科専門医3人体制に変わりありません。

西村修平が平成30年3月で定年退職となりましたが、中山間地域での補充医師の確保困難もあり、引き続き嘱託として病院の診療業務を継続しています。

院長業務が減った代わりに併設施設のリハビリ診療所や特養部門も一部担当することとなり、病院と施設を行ったり来たりしています。

脳外科の診療内容については大きな変化はなく、昨年同様に継続しております。

(記 西村修平)

### 【業績】

(1) 医師数 3 (専門医 3)

西村修平、出端亜由美、他1名

(2) 病床数 40

(3) 入院症例数 255

(4) 手術症例数 31

脳腫瘍	1
生検術（開頭術）	1
脳血管障害	8
破裂動脈瘤	3
高血圧性脳内出血	4（開頭血腫除去術 2、定位手術 2）
その他	1
外傷	10
慢性硬膜下血腫	10
水頭症	12
脳室シャント術	3
その他	9

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数	2	
動脈瘤塞栓術（破裂動脈瘤）	.....	1
動静脈奇形（脳）	.....	1

(7) 剖検数 0

(8) 発表

熊本地震におけるJapan Rehabilitation Assistance team（JRAT）の活動  
出端亜由美  
第308回公立みつぎ総合病院オープンカンファレンス（2017.6.8、尾道市）

脳卒中後の手足の筋肉のつっぱりに対するボツリヌス療法  
出端亜由美  
さわやか健康教室（2017.10.11、尾道市）

## 北九州市立八幡病院

(〒805-8534 福岡県北九州市八幡東区西本町4-18-1 部長 越智 章)

### 【現況報告】

2017年3月末をもちまして、昭和53年の救急救命センター開設以来継続してきた24時間365日院内脳神経外科医常駐を中止しました。また、4月から脳神経外科医常勤医は1名となりました。開設当初は、脳神経外科医は6名でスタートしましたが、私が赴任した2005年は5名。その後、4名、3名と減少し、24時間365日を維持するのが困難となって来ました。それでも、金曜の夜間から日曜の夕方まで、大学教室員のご協力を賜りながら、北九州市のためだと信じて継続して来ました。週2回当直の激務をこなしてくださいました若手の先生方、本当に有難うございました。北九州市民を代表して、感謝の意を表したいと思います。

4月になって、脳外の急患をどうするかという問題が発生しました。今までずっと救命救急センターの当直は、内科・外科・小児科・脳神経外科4科の体制だったのが、変わってしまいました。以前から、総合臨床救急当直医を配置するように、市や病院にお願いして来ましたが、全く目処が立たないままでした。所謂“脳外の患者”をどう診療していくかという問題です。

ここで、所謂という言葉を使ったのは、“脳外の患者”の定義が曖昧で万人に共有できていなかったためです。脳神経外科医の立場からは、脳神経外科の教科書に出てくる疾患もしくは、大学で脳神経外科の講義で取り上げられた疾患の可能性が高い患者と考えたいところですが、現実はそうではありませんでした。それでも、救急患者初診時に診断を推測し難い事は、よく理解できるため、よほどの外れでない限り診療してきました。

“脳外の患者”という言葉はなんだったのか？落ち着いて考えて見た結果、私なりに以下の結論に達しました。“脳外の患者”とは、誰かがそう呼べば“どんな患者でも八幡病院救命救急センターの脳神経外科医の診療が受けられる”魔法の呪文のようなものではなかったかと。救急隊でも看護師でも他科の医師でも誰でも使える便利な言葉だったと思うのです。

もともと実態のはっきりしない集団ですから、特別な解決策がなくても、何となく大きな問題とならずに4月以降も救急を継続する事が出来ました。もちろん、不慣れな疾患の救急初療を担当していただいた内科をはじめとする当直医の先生方のご尽力なしには出来なかった事ですし、4月以降に非常勤で外来を診ていただいた、産業医科大学脳神経外科西澤茂教授（3月退職）、山本淳考准教授（現教授）、また9月から常勤となった副島慶輝主任部長のおかげで、何とか出来たことも忘れてはならないと感じています。

私ごとになりますが、本年1月15日に北九州市病院局局長から、退職か八幡病院以外の臨床に関わらない市職員になるか選択するように命ぜられました。その結果2018年度以降の北九州市立八幡病院脳神経外科の運営は、産業医科大学脳神経外科に託すことになりました。

「私たちは、24時間、質の高い医療を提供し、皆様に、安心、信頼、満足していただける病院を目指します」を基本理念に掲げて来た北九州市立八幡病院は、本年12月末に新病院に生まれ変わることをお知らせして、現況報告とさせていただきます。

(記 越智 章)



## 【業績】

- (1) 医師数 1 (専門医 1)  
越智 章
- (2) 病床数 25
- (3) 入院症例数 179
- (4) 手術症例数 46
- |            |    |
|------------|----|
| 脳血管障害      | 9  |
| 脳動脈瘤クリッピング |    |
| 未破裂        | 1  |
| 高血圧性脳内出血   |    |
| 開頭血腫除去     | 6  |
| 定位的血腫除去    | 2  |
| 外傷         | 22 |
| 急性硬膜下血腫    | 1  |
| 減圧開頭       | 1  |
| 慢性硬膜下血腫    | 20 |
| 脳腫瘍        | 4  |
| 摘出         | 3  |
| 生検+ドレナージ   | 1  |
| その他        | 11 |
| 水頭症        |    |
| シャント       | 3  |
| ドレナージ      | 6  |
| その他        | 2  |
- (5) 定位的放射線治療症例数 0
- (6) 血管内手術症例数 2
- |            |   |
|------------|---|
| 脳動脈瘤コイル塞栓術 |   |
| 破裂         | 2 |
- (7) 剖検数 0

(8) 発表

脳梗塞

越智 章

八幡薬剤師会脳卒中研修会第1回目 (2017.12.7、北九州市)

## 石坂脳神経外科

(〒857-1162 佐世保市御本町30-42 院長 石坂博昭)



### 【現況報告】

当院は今年で開院30年を迎える事となりました。開院から通院されている方もいらっしゃいます。長期にわたり通院されている患者さんと接する時、皆様の力に支えられて、患者さんと共に歩んできた事を感じることが出来ます。

この30年間で疾病構造や医療情勢の変化とともに当院の役割も変わってきました。現在では認知症や骨折、全身合併症が多く医療管理が必要な回復期脳卒中リハビリテーションも地域における当院の大きな役割となっております。脳外科領域では脊髄変性疾患や正常圧水頭症の比率が増えてきておりますし、少しずつですが末梢神経の外科も始めております。核家族化による介護力の低下、超高齢化による疾病の複雑化により、地域に密着した有床診療所が担う役割はあらためて注目されてくるものと思います。今後は地域との連携が求められます。当院でも医療介護の枠から踏み出し、幼稚園やこども食堂との合同イベントなどを企画しております。今後どのような医療介護サービスを提供できるのか、試行錯誤の日々が続いています。まずはスタッフが元気に明るく健康でいる事が大事だと感じている今日この頃です。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(記 石坂博昭)

【業績】

(1) 医師数 1 (専門医 1)

石坂博昭

(2) 病床数 19

(3) 入院症例数 233

(4) 手術症例数 73

aneurysm .....	7
CEA .....	10
Tumor .....	3
Chronic subdural hematoma .....	11
EC-IC bypass .....	4
Microvascular decompression .....	5
Spinal .....	19
Shunt .....	9
Others .....	5

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 講演

高齢者てんかんについて

石坂博昭

エーザイ薬品社外講師勉強会 (2017.2.17、佐世保市)

(9) 社会活動

石坂博昭	佐世保市医師会看護学校 (非常勤講師)
------	---------------------

## 安永脳神経外科

(〒851-2105 西彼杵郡時津町浦郷264-3 院長 安永暁生)

## 【現況報告】

開院19年になりました。私はもうすぐ古希になります。還暦をすぎるとお祓いはなくなりお祝いになるようです。長生きしておめでたいということのようです。

当院は19年間毎日変わらずに朝は早よから夜遅くまでウィスキー片手に仕事するではありませんが、あまり診療の生活は変わっていません。40年前の脳神経外科そのままです。ただ当直の負担が医局の皆様の協力により楽になりました。開業当初より患者さんは19歳年を取り外来の患者さんの平均年齢は70歳を超えています。脳梗塞の急性期の治療はこれまではt-PAを静脈注射による血栓溶解が主流でしたが次第に血管内治療により主幹動脈から血栓を機械的に除去する血栓回収療法がメインになりつつあるように思います。これから脳神経外科医と名乗るからにはこの治療ができなければならない必須のことになりそうです。血栓回収療法には興味があり、我々のような年齢の脳神経外科医でもハンズオンに参加してみたい、機会を作ってもらえればと思います。

驚かされたのは4月より急に始まった新専門医制度です。外来中心の開業医にとっては今後5年で条件をクリアすることが難しそうです。専門医が更新できなかった場合の不利益はどのようなことがあるのか不安が残っています。

これからも地域の脳神経外科の診療を支えていきたいと考えています。ご支援をお願いします。

(記 安永暁生)

## 【業績】

(1) 医師数 2 (専門医 2)

安永暁生、福岡政昭

(2) 病床数 19

(3) 入院症例数 243

(4) 手術症例数 83

Aneurysm ..... 9

ICA 4

Acom 4

disral ACA 1

Brain tumor .....	10
meningioma	7
pituitary adenoma	1
acoustic neurinoma	1
ependymosarcoma	1
Spinal tumor .....	1
Metastatic tumor	1
CEA .....	3
Trauma .....	34
chr. SDH	34
Microvascular decompression .....	5
hemifacial	5
Spine .....	16
Cervical	
anterior fusion	3
laminoplasty	11
laminectomy	1
Lumbar	
laminectomy	1
Shunt .....	4
VP shunt	4
Others .....	1

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 論文

会員参加の医師会運営

安永暁生

西彼杵医師会報108: 7-9, 2017

頸部痛を呈した頸椎石灰沈着症の4例

福嶋政昭、安永暁生

西彼杵医師会報107: 68-74, 2017

## (9) 学会発表

内頸動脈解離の2例

福嶋政昭、安永暁生

第20回西彼杵医師会学術集会 (2017. 11. 14、長崎)

特発性頸部内頸動脈解離の2例

福嶋政昭、安永暁生

第35回長崎脳神経外科研究会 (2017. 12. 23、長崎市)

## (10) 社会活動

安永暁生	長崎県医師会 (代議員) 長崎県医師会 予算委員会 (委員) 長崎県医師会 医療紛争処理委員会 (委員) 長崎県医師連盟 (執行委員) 西彼杵医師会 (副会長、広報、生涯教育、勤務医・病院委員会委員) 西彼杵医師会 西彼杵医師連盟 (委員) 長崎県西彼保健所 西彼地域医療安全相談センター連絡協議会 (委員) 長崎県西彼保健所 西彼地域保健医療対策協議会 (委員) 長崎県医療政策課 長崎地区脳卒中センター等会議 (委員) 長崎県医療政策課 長崎区域地域医療構想調整会議 (委員)
------	---

## 井 上 脳 神 經 外 科

(〒857-0143 佐世保市吉岡町1005-1 院長 井上 優)

- (1) 医師数 1 (専門医 1)  
井上 優
- (2) 病床数 0
- (3) 入院症例数 0
- (4) 手術症例数 0
- (5) 定位の放射線治療症例数 0
- (6) 血管内手術症例数 0
- (7) 剖検数 0



## 陣の内脳神経外科クリニック

(〒816-0802 福岡県春日市春日原北町3-63 理事長 陣内敬文)

### 【現況報告】

当院のサテライト 天神頭痛クリニックは4年目を迎えようとしています。

本院は24年目に突入です。

地元に着した一般医として臨床に邁進しています。

(記 陣内敬文)

(1) 医師数 3 (専門医 1)  
陣内敬文 他

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 学会発表

22年間の脳ドックの集積

陣内敬文

第26回日本脳ドック学会総会 (2017.6.9、福岡市)

脳梗塞の原因と治療 ゼチアの有用性

陣内敬文

バイエル福岡支店社内研修会 (2017.4.5、福岡市)



リクラストとテリボンの効能

陣内敬文

旭化成福岡支店社内研修会（2017.7.26、福岡市）

可逆性脳血管攣縮症候群（RCVS）と入浴頭痛は同一疾患か？

陣内敬文

第35回長崎脳神経外科研究会（2017.12.23、長崎市）

#### （9）社会活動

筑紫地区障害者支援区分審査会 合議体長

春日市役所福祉課

テレビ出演

陣内敬文 頭痛の駆け込み寺（TNC；ももち浜ストア，2017.2.19）

陣内敬文 天気痛を予防しよう（KBC；アサデス，2017.6.25）

## 三宅脳神経外科医院

(〒852-8023 長崎市若草町3-21 院長 三宅仁志)

### 【現況報告】

昨年の報告と特に変わりありません。しいて上げれば私が左の上腕の肉離れを生じたことくらいでしょうか。今も疼いて可愛い孫の抱っこもままなりません。

事の起こりは永年、頭痛で通われている高齢の女性の受診からです。数日前にデイサービスの迎えの車中で気を失っておりデイサービス先の整形外科で心臓マッサージを受けた由。そのまま整形外科医院に入院し、その後は異常なかったので翌日には退院されました。かかりつけ医から、まずは脳外科にかかるようにと指示を受け来院された次第です。

当時の診断は？心臓の検査や血液検査はしたのか？と尋ねましたが同伴の家族では要領を得ず、診察と頭部MR I検査を予約して帰しました。

数分後に受付から先程の患者さんが当院の駐車場で気を失っていますとの報告を受けました。駆けつけますと車の助手席で意識をなくしておりました。脈は触れず呼吸もしていません。隣車とのわずかな隙間では対応困難なため急ぎ車から出さねばなりません。強引に私が上半身に手をかけ引き出し、半身が車外に出たところをもう一人のスタッフに下半身を抱えてもらいストレッチャーに移し医院に搬入しました。アンビューバッグで呼吸をさせながらAEDを用意していると直ぐに自発呼吸が再開し脈も触れだしました。結局、報告を受けて5分も経たっていないでしょうか？やれやれでした。迷走神経反射のようでしたが、そのまま帰すわけにも行かず近所の病院に収容して頂きました。

90歳で一人暮らしの方が当たり前のように通院してこられる時代になりました。見た目は普段と変わりなくても時や所かまわずにいきなりショックになる事も珍しいことでは無いのかもしれない。たまたま、うちでそうなったというだけなのでしょうが、ぞっとします。家族の方も何時どうなっても仕方がないと納得の上で一人暮らしをさせているとも思えます。事の次第では訴えられたりもするのかなと複雑な心境です。翌日から痛み出した左腕を擦りながら、報告致します。

(記 三宅仁志)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
三宅仁志

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## 伊崎脳神経外科・内科

(〒856-0831 大村市東本町168 理事長 伊崎 明)

(1) 医師数 2 (専門医 1)

伊崎 明 他

(2) 病床数 19

(3) 入院症例数 228

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 講演

高齢化と認知症と

伊崎 明

花みずき講演 (2017.1.23、大村市)

認知症総論～今日知れば間に合う認知症基礎知識～

伊崎 明

日本赤十字社長崎原爆病院 第15回地域連携の会 (2017.2.3、長崎市)

認知症に対する大村市医師会と包括支援センターの取り組み

伊崎 明

第3回県央認知症カンファレンス (2017.2.16、諫早市)

認知症に対する大村市医師会と大村市の取り組み～大村市医師会とサポート医・相談医の取り組み～

伊崎 明

認知症サポート医等フォローアップ研修 (2017.3.7、大村市)

認知症をとりまく社会情勢と大村市の取り組み

伊崎 明

バイエル社内講習会（2017.3.10、長崎市）

大村市認知症地域連携の足跡～大村市医師会と地域包括を中心とした活動をふり返って～

伊崎 明

第6回大村市医師会認知症相談医講習会（2017.4.13、大村市）

認知症～疫学と社会情勢～

伊崎 明

認知症支援リーダー養成講習①（2017.7.4、大村市）

連携について

伊崎 明

認知症支援リーダー養成講習②（2017.8.8、大村市）

「BPSD」～総論～

伊崎 明

認知症支援リーダー養成講習③（2017.9.5、大村市）

## 古賀脳神経外科

(〒850-0017 長崎市新大工町5-7 院長 古賀博明)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
古賀博明

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## 桑原脳神経外科医院

(〒820-0053 福岡県飯塚市伊岐須131 院長 桑原正憲)

(1) 医師数 1 (専門医 1)

桑原正憲

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0



# 日 浦 病 院

(〒851-2326 長崎市下黒崎町1402 理事長 日浦 剛)

## 【現況報告】

長崎大学脳神経外科医局の皆様、関連病院の皆様、日頃より大変お世話になっております。医局の先生方には、外来、当直業務でお世話になっております。ありがとうございます。

地域の一般病院ですので脳神経外科疾患だけでなく、色々な方の診察の対応になっているかと思いますが、地域医療の一般診療の体験のつもりで勘弁下さい。

また、関連病院にて急性期治療を終え、こちら方面の患者さんで転院での治療継続の希望の方がおられましたら、当院地域連携室の若葉谷（わかばや）と野口が迅速に対応致しますので、いつでもご連絡ください。

これからもどうぞよろしく申し上げます。

(記 日浦 剛)



医療法人外海弘仁会 日浦病院

理事長・院長 日浦 剛

地域連携室 若葉谷 陽介

野口 理恵

地域連携室直通電話 0959-25-1800

【業績】

- (1) 医師数            1  
    日浦 剛
- (2) 病床数        約 2 0
- (3) 入院症例数   1 5 8
- (4) 手術症例数     0
- (5) 定位の放射線治療症例数   0
- (6) 血管内手術症例数   0
- (7) 剖検数            0

## 山 鹿 ク リ ニ ッ ク

(〒802-0084 北九州市小倉北区香春口1-13-1 院長 山鹿誠一)

(1) 医師数 1 (専門医 1)

山鹿誠一

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## つつみ脳神経外科クリニック

(〒833-0054 福岡県筑後市大字蔵数642-7 理事長 堤 健二)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
堤 健二

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## ひらた脳神経外科クリニック

(〒818-0125 福岡県太宰府市五条2-11-3 理事長 平田勝俊)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
平田勝俊

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## 山下脳神経外科クリニック

(〒744-0072 山口県下松市望町5-4-7 院長 山下弘己)

(1) 医師数 1 (専門医 1)

山下弘己

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 社会活動

山下弘己	下松医師会 (副会長)
------	-------------

### 3. 研 究 会





## 3. 研 究 会

## 3-① 長崎障害者支援再生医療研究会

第31回長崎障害者支援再生医療研究会
--------------------

日時 2017年2月14日(火) 17:30～19:15

場所 長崎大学医学部良順会館(長崎市)

【一般演題】 座長 田中克己(長崎大学 形成外科 教授)

講演 1 「魚コラーゲンペプチドの骨芽細胞への分化と石灰化促進効果」  
演者 山田志津香、池田 毅、山本耕平、柳口嘉治郎、  
林 善彦(長崎大学大学院 齶蝕学分野)

講演 2 「脳梗塞に対する間葉系幹細胞移植の効果はドナーの年齢に依存する  
—agingによる影響—」  
演者 山口 将、堀江信貴、定方英作、佐藤克也、西田教行、  
松尾孝之(長崎大学 脳神経外科、保健学科、感染分子解析学)

【特別講演】 座長 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

講演 「脳梗塞に対する再生医療」  
演者 寶金清博(北海道大学病院 病院長/北海道大学 脳神経外科学 教授)

### 3-② 長崎間脳下垂体疾患カンファレンス

第11回長崎間脳下垂体疾患カンファレンス

日時 2017年3月3日（金）19：00～20：40

場所 ホテルニュー長崎（長崎市）

【症例検討会】 司会 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

症例1 「視力低下と動眼神経麻痺が急速に進行したトルコ鞍腫瘍の一例」

演者 吉田光一（長崎大学 脳神経外科 助教）

症例2 「鑑別に苦慮したTSH不適切分泌症候群（SITSH）の一例」

演者 酒匂あやか（長崎大学 内分泌・代謝内科）

【特別講演】 座長 川上 純（長崎大学 第一内科 教授）

演題 「下垂体疾患の最近の話題 - 自験例を中心に -」

演者 大月道夫（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学 講師）

### 3-③ 長崎脳神経疾患治療研究会

第32回長崎脳神経疾患治療研究会

日時 2017年3月6日(月) 18:45～21:00

場所 長崎大学医学部ポンペ会館 (長崎市)

【一般演題】 座長 堀江信貴(長崎大学 脳神経外科)



吉田先生

- 演題 1 「特異な経過をたどったトルコ鞍病変」  
演者 吉田光一(長崎大学 脳神経外科)



伊木先生

- 演題 2 「慢性硬膜下血腫に対する内視鏡的血腫除去の経験」  
演者 伊木勇輔、山口 将、陶山一彦(長崎みなとメディカルセンター市民病院  
脳神経外科)



佐藤先生

- 演題 3 「非典型的/非外傷性頭蓋内出血の1例」  
演者 佐藤 慧、酒井洸典、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、  
堤 圭介（長崎医療センター 脳神経外科）

第33回長崎脳神経疾患治療研究会

日時 2017年7月31日（月）18：45～21：00

場所 長崎大学医学部ポンペ会館（長崎市）

- 【一般講演】 座長 陶山一彦（長崎みなとメディカルセンター市民病院）
- 演題 1 「両耳側半盲で発症した下垂体腫瘍以外のトルコ鞍病変」  
演者 吉田光一（長崎大学 脳神経外科）
- 演題 2 「側頭葉出血性脳梗塞を来した一例」  
演者 倉田博基、日宇 健、大園恵介、川原一郎、小野智憲、牛島隆二郎、  
堤 圭介（長崎医療センター 脳神経外科）
- 演題 3 「急性期脳梗塞におけるT2 star weighted SWAN の有用性」  
演者 山口 将（長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科）

### 3-④ 長崎脳腫瘍研究会 2017

日時 2017年4月11日（火）19：00～20：10

場所 ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション（長崎市）



岩立教授

【特別講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「脳科学の時代のグリオーマ治療」

演者 岩立康男（千葉大学大学院 医学研究院 脳神経外科学 教授）

### 3－⑤ 長崎脳血管内治療研究会

第3回長崎脳血管内治療研究会

日時 2017年6月2日（金）19：00～21：00

場所 ホテルニュー長崎（長崎市）

【一般演題】 座長 堀江信貴（長崎大学 脳神経外科 講師）

演題 1 「脳血管内治療の2例；上手くいった例、上手くいかなかった例」

演者 北川直毅（長崎労災病院 脳神経外科 部長）

演題 2 「長崎大学病院でのAIS治療成績」

演者 諸藤陽一（長崎大学 脳神経外科 助教）

演題 3 「慢性硬膜下血腫に対する血管内治療」

演者 山口 将（長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科）

【特別講演】座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「アグレッシブな脳血管内治療」

演者 大石英則（順天堂大学医学部附属病院 脳神経外科）

---

### 3－⑥ 長崎ニューロイメージングカンファレンス

第14回長崎ニューロイメージングカンファレンス

日時 2017年6月26日（月）19：00～20：25

場所 ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション（長崎市）

【Opening remarks】

「DaTSCANの現状と今後の展望」

辻野 彰（長崎大学 脳神経内科 教授）

【話題提供】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「血管壁（プラーク）イメージングの実際」

演者 森川 実（長崎大学病院 放射線部 副部長）

【特別講演】 座長 小澤寛樹（長崎大学 精神神経科 教授）

演題 「認知症診断における核医学検査の現状と将来展望」

演者 石井一成（近畿大学医学部附属病院 早期認知症センター 教授）

## 3-⑦ 長崎脳疾患研究会

## 第12回長崎脳疾患研究会

日時 2017年7月12日（水）19：00～20：10

場所 ホテルニュー長崎（長崎市）



藤井教授

【特別講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「治療戦略に役立つニューロイメージング - 高血圧の話題も含めて -」

演者 藤井幸彦（新潟大学脳研究所 脳神経外科学分野 教授）

## 3-⑧ 長崎県てんかん診療ネットワーク学術講演会

日時 2017年7月14日（金）19：00～20：30

場所 ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション（長崎市）

【講演】 座長 戸田啓介（長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター 脳神経外科 医長）

演題 「てんかん患者の心理面のアセスメントと支援について～長崎医療センターてんかんセンターでの取り組みを通して～」

演者 越本莉香（長崎医療センター 心理療法室 臨床心理士）

【特別講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「てんかん発作のセミオロジー」

演者 重籬寛史（福岡山王病院 てんかん・すいみんセンター長/国際医療福祉大学 教授）

### 3-⑨ てんかん診療セミナー

日時 2017年7月24日(月) 19:00～

場所 長崎ロイヤルチェスターホテル(長崎市)

【オープニングリマークス】

演者 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

【特別講演】 座長 安永暁生(安永脳神経外科 院長)

演題 「長崎大学病院におけるてんかん診療の取り組み」

演者 馬場史郎(長崎大学 脳神経外科 助教)

---

### 3-⑩ 長崎てんかん治療セミナー

日時 2017年10月19日(木) 19:00～20:30

場所 ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル(長崎市)

【基調講演】 座長 案田岳夫(長崎大学 脳神経外科 准教授)

演題 「長崎大学病院におけるてんかん診療の取り組み」

演者 馬場史郎(長崎大学 脳神経外科 助教)

【特別講演】 座長 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

演題 「てんかん診療連携の新しい考え方」

演者 中里信和(東北大学大学院医学系研究科 てんかん学分野 教授)



### 3-⑪ 脳神経外科Expert Meeting

日時 2017年10月25日（水）19：00～20：30

場所 ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション（長崎市）

司会 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）



馬場先生

#### 【一般演題】

演題 「当院でのペランパネルの使用経験」

演者 馬場史郎（長崎大学 脳神経外科 助教）



園田主任教授

#### 【特別講演】

演題 「悪性神経膠腫の局所治療の可能性」

演者 園田順彦（山形大学医学部 脳神経外科学講座 主任教授）

### 3-⑫ 長崎脳神経外科フォーラム

第3回長崎脳神経外科フォーラム

日時 2017年11月21日（火）19：00～20：30

場所 長崎ワシントンホテル（長崎市）

司会 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）



吉田先生

【一般演題】

演題1 「てんかん診断の現況～アンケート調査の結果より～」

演者 吉田光一（長崎大学 脳神経外科 助教）



吉田教授

【特別講演】

演題 「頭蓋底腫瘍の手術戦略」

演者 吉田一成（慶応義塾大学医学部 脳神経外科 教授）

## 3－⑬ 長崎くも膜下出血研究会・長崎脳血管内治療研究会

第36回長崎くも膜下出血研究会

第4回長崎脳血管内治療研究会

日時 2017年12月19日（火） 19：00～21：00

場所 ホテルニュー長崎（長崎市）

【第一部】 座長 上之郷眞木雄（井上病院 脳神経外科 部長）

演題 「長崎くも膜下出血研究会 新プロトコルについて」

演者 案田岳夫（長崎大学 脳神経外科 准教授）

【特別講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「広南病院の血管内治療2017」

演者 松本康史（広南病院 血管内脳神経外科 部長）

## 3－⑭ 脳血管障害UP DATE セミナー

日時 2017年12月21日（木） 19：00～20：30

場所 サンプリエール（長崎市）

座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）



出雲先生

【一般講演】

演題 「本邦における安全な抗凝固療法～脳神経外科医の立場から～」

演者 出雲 剛（長崎大学 脳神経外科 講師）



森岡主任教授

【特別講演】

演題 「CVD—surgery—基本手技の応用と予想外への対応—」

演者 森岡基浩（久留米大学医学部 脳神経外科 主任教授）

---

### 3－⑮ 長崎脳神経外科研究会

第35回長崎脳神経外科研究会

日時 2017年12月23日（土） 13：30～17：40

場所 ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション（長崎市）



陶山先生

【一般演題】

セッションⅠ； 座長 陶山一彦（長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科）



佐藤先生

1. Os odontoideumにより脳梗塞を繰り返した小児の一例  
佐藤 慧（長崎大学 脳神経外科）



山口先生

2. 当院における動脈解離症例  
山口 将（長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科）



大園先生

3. Primary intraventricular hemorrhageにて発症した上矢状静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例  
大園恵介（長崎医療センター 脳神経外科）

4. 多発性脳動脈瘤を伴った非外傷性急性硬膜下血腫の一例  
皆川竜哉（福岡青洲会病院 脳神経外科）

5. High flow bypassを安全に行うための工夫  
広瀬 誠（長崎労災病院 脳神経外科）

セッションⅡ； 座長 鎌田健作（長崎大学 脳神経外科）

1. 可逆性脳血管攣縮症候群と入浴頭痛は同一疾患か？  
陣内敬文（陣の内脳神経外科クリニック）
2. retrospectiveに比較的急速な増大が確認された髄膜腫の3例  
笠 伸年（十善会病院 脳神経外科）
3. 乳癌骨転移を契機に診断されたLhermitte-Duclos diseaseを伴ったPTEN過誤腫症候群の一例  
高橋治城（小波瀬病院 脳神経外科）
4. GH正常値の先端巨大症の1例  
吉村正太（長崎県島原病院 脳神経外科）

セッションⅢ； 座長 北川直毅（長崎労災病院 脳神経外科）



宗先生

1. コイル塞栓術を施行した前大脳動脈A1窓形成部の破裂脳動脈瘤の1例  
宗 剛平（済生会長崎病院 脳神経外科）



松永先生

2. 副中大脳動脈に関連した塞栓性脳梗塞に対して急性期血行再建術を施行した1例  
松永裕希（佐世保市総合医療センター 脳神経外科）
3. 特発性頸部内頸動脈解離の2例  
福嶋政昭（安永脳神経外科）
4. 当院における脳神経外科ホットラインの現況：2012年報告後の結果  
本田 優（周南記念病院 脳神経外科）

【報告】 座長 案田岳夫（長崎大学 脳神経外科）



堀江先生

新・専門医研修プログラム制度について  
専門医資格更新(日本専門医機構基準)について  
堀江信貴（長崎大学 脳神経外科）

長崎くも膜下出血研究会年次報告  
上之郷眞木雄（井上病院 脳神経外科）



高島先生

長崎大学病院リハビリテーション部 専従医就任のご挨拶  
高島英昭（長崎大学病院 リハビリテーション部）

【退職講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科）



西村先生

西村修平（公立みつぎ総合病院 院長）

【NPO法人長崎脳神経外科研究会 総会】



## 4. 先輩便り



## 4. 先輩便り

### 安永 暁生 先生

永田教授が長崎大学脳神経外科の脳血管障害の診療治療のレベルを全国レベルに引き上げ平成26年3月退官された。第4代教授として松尾先生が平成26年11月に就任した。この間の脳外科医局員はまとまって教授選に臨み同門の現教授が選出に努力された。同門会長として医局員の奮闘ぶりをみる事ができた。このような期間に同門会長であったことに考え深いものがある。私の任期はその後の教室運営の移行に伴い2年延長された。同門会長在任中に、脳外科医の環境はめまぐるしく変わり、そのスピードに着いていくのが大変であった。脳外科医の新研修医制度が始まって入局者の減少により慢性的な医局員不足、脳卒中治療の劇的な変化、サブスペシャリティ部門の増加、働き方改革、など、地域医療を担う脳神経外科医の負担が増加している。もゆとりのある脳神経外科の実現するため、治療拠点の集中と分散がこれからの課題となる、同門会も医局共に知恵を出していくことになりそうである。

次期同門会長三宅先生よろしくお願ひします。



## 三宅 仁志 先生

同門会会長就任の、ご挨拶

はじめに、安永暁生先生におかれましては同門会長として長い間、とりわけ永田泉前教授退官から松尾孝之教授就任までの大変な時期に同門会をまとめてくださったことに心よりお礼申し上げます。

本年4月より安永先生を引き継ぎ同門会の会長を勤めさせていただくことになりました。自分の身の丈に合った活動しかできませんが精いっぱい努めてまいります。

さて、同門会の役割は、長崎大学脳神経外科の医局、関連病院および医院が順調に運営され、そこで働く皆様が恙なく職責が果たせるよう応援することかと存じます。そのことで今一番、深刻に感じておりますことは会員の減少です。この現象をくいとめ、新しい正会員、即ち長崎大学脳外科の入局者を如何にして増やしていくかが喫緊の課題です。

実際には学生の皆さんに大学病院の先生方や時には実習先の先生方が臨床の最前線を見せ、指導し、脳外科に入って頂くようにと勧誘されているわけですが、私の時代と異なり臨床研修医時代にも専門科決定の機会があり、研修病院の先生方の役割もより重要になっているかと思えます。

病院で脳神経外科学の臨床を体験した学生・研修医は、その魅力に惹かれながらも脳外科医のタフな働きぶりに圧倒され、入局を躊躇する気持ちもあるかと思えます。そこで、もうひと押し、入局までこぎつけるために臨床実習や研修で緊張し疲れた体や心をとまどいながら、先輩が脳神経外科の魅力や苦労話を熱く語る、このひと時も貴重かと存じます。お腹が満ち、ほんのりとアルコールで気分の高揚した人間同志が本音で語り合う時間も脳外科勧誘に大切ではないかと存じます。伝え聞く所では費用もほとんど自腹とか・・・。

仕事の後の貴重なプライベートな時間に、くたくたでありながらも更なるコミュニケーションをとるべく勧誘に務められている先生方には頭が下がる思いです。

数年前から勧誘のための予算を同門会の皆様にもご援助いただいておりますが、大学病院重視になってしまい研修病院の先生方まで配慮ができておりません。改善の必要があるかと存じます。

高尚であるべき就任の挨拶が、お金の話で品が無く申し訳ありません。また、開業医の先生方にはご負担ばかりをお願いすることとなり、心外な思いをされているかと存じますが、かつて関わった教室の可愛い後輩のために、ひいては教室の発展のために、ご協力頂ければと切にお願い申し上げます。

以上、お願いも兼ねまして就任の、ご挨拶を申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



## 5. 医局員便り



## 5. 医局員便り

### 平尾 朋仁 先生



長崎大学脳神経外科同門のみなさま、こんにちは。現在、大学病院内の救命救急センターへ出向しております平尾朋仁です。この場をお借りして、平成30年4月より「高度」救命救急センター」に生まれ変わった当センターの紹介と近況報告をさせていただきます。

長崎大学病院にはもともと救急部がありましたが、当初は各診療科が受けた救急搬送症例の初療を手伝ったり、診療科が特定しづらい急患を対応する、といった状況でした。平成22年4月に中央診療施設内の一部門として救命救急センターが発足、平成23年6月に田崎修教授が就任され、診療科・講座としての体制ができました。さらに平成23年10月より救命救急センター内に脳卒中センターおよび外傷センターが開設、平成24年5月からはドクターカー「龍馬」の運行が開始されました。平成27年には、高度被ばく医療支援センターおよび原子力災害医療・総合支援センターに指定され、被ばく県に位置する大学病院の救命救急センターとして、被ばく医療や原子力災害医療にも積極的に取り組みを始めました。平成28年へりポート開設、そして平成30年4月より高度救命救急センターの指定を受け、新たなスタートをきることとなりました。ちなみに“高度”の要件とは、救命救急センターに収容される患者のうち特に広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊疾病患者を受け入れる診療機能を有するものとされ、24時間常時手術可能な体制を維持していることとなっております。“高度”化することによって診療体制を内外にアピールできるだけでなく、診療報酬加算も少し上乘せられるため、診療面の充実のみならず経営面でも病院に貢献できるのではないかと、スタッフ一同ますます張り切っております。

さて私自身について少し申しますと、救急を勉強したいという私のワガママを聞き入れてくださった松尾孝之教授はじめ医局の皆さまのご厚意に甘えさせていただき、救命救急センターへ身を置いて7年目となりました。その間、救急科専門医を取得させていただきましたし、年功序列の事情(!?)から医局長も拝命しております。脳神経外科の専門的診療からは少し離れ、スパイナルドレーンでなく胸腔ドレーンを留置することが多くなり、頸動脈エコーはいつしか心・腹部エコーにとってかわり、神経内視鏡ではなく気管支鏡を操作するといった日々を過ごしています。胸腹部外傷、重症敗血症、広範囲熱傷、壊死性筋膜炎、大量服薬（睡眠薬、農薬、覚醒剤…）等なじみの薄い疾患に囲まれ、未だに不安と緊張を抱えながらではありますが、多くの診療科・スタッフに助けていただきながら診療にあたっております。とりわけ脳神経外科との連携は強く、重症頭部外傷の際には迅速な血腫除去・減圧術を行っていただいておりますし、近年では外傷性CCFや頭頸部血管損傷等に対する血管内治療の機会も増えてきました。手術適応の判断や治療オプションを考慮できることは、脳神経外科出身の強みだと自負しております。全国的には脳神経外科出身の救急医が多く、長崎においても少しずつ存在感を高めていければと考えております。今後も同門の先生方のご指導・ご協力をいただきながら、長崎の救急医療の充実・発展、とくに神経救急疾患の予後改善のために力を注いでまいりたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。



## 6. 長崎大学脳神経外科の現況



## 6. 長崎大学脳神経外科の現況

### 教室だより ～ 2018年～

2018年の教室便りをお届けします。昨年は若い力が大活躍した年でした。中学生でプロ入りした将棋の最年少棋士、藤井聡太四段は14歳で29連勝の新記録を樹立しました。デビュー戦の相手で、「ひふみん」の愛称で知られる最年長棋士、加藤一二三九段の引退も注目されました（その後、芸能界デビューしましたが・・・）。一方で陸上界においては、桐生祥秀選手が9秒98の日本新記録を樹立し、これまで無理とされていた日本人10秒の壁を破りました。同じ年に陸上男子短距離のスター選手ウサイン・ボルト（ジャマイカ）が現役引退しました。さて、我が国の脳神経外科医は全国的に高齢化の皺寄せが来ています。今後の脳神経外科の発展を考えていく上で若い力は必要不可欠です。長崎大学脳神経外科に課せられた使命として、若い力を最大限に伸ばし、長崎から全国、世界へ羽ばたく人材を作る環境を提供し続けていきたいと思えます。

さて、2018年度は長崎大学脳神経外科教室に1名の新入医局員を迎えることができました。岡村宗晃先生です。岡村先生は佐世保市総合医療センター脳神経外科で初期研修を積み、入局を決めて頂きました。関連施設脳神経外科における御指導の影響が大きいと考えられます。この場をお借りして御礼申し上げます。

岡村先生は社会人から長崎大学医学部に入学して医師国家試験に合格した優秀な先生です。佐世保出身で、高校生の時に付き合っていた彼女が今の奥様です。社会人から医学部に入学したときにはいろいろなプレッシャーもあったようですが、一途な思いを続け、卒業後にめでたくゴールインしました。現在は子供さんが6ヶ月とのことで楽しい家庭生活を送っていることと思えます。非常に真面目な好青年ですが、医局長としては彼のいろいろなキャラクターを探っていきたいと思えます。古賀先生は昨年入局しましたが、そのまま産休に入っており、1年遅れての後期研修医復帰となります。産後の脳神経外科医は長崎初となりますが、医局を上げてサポートしていきたいと思えます。

教室人事としましては佐世保市総合医療センターの白川 靖先生が長崎労災病院へ、長崎県島原病院の野田 満先生が長崎川棚医療センターへ、済生会長崎病院の原口 渉先生が長崎医療センターへ、長崎みなとメディカルセンターの山口 将先生が長崎県島原病院へ、長崎大学から定方英作先生が長崎みなとメディカルセンターへ異動となりました。また佐世保市総合医療センター、長崎医療センターで研修を積んでいた松永祐希先生、大園恵介先生は長崎大学へ戻り、ご活躍中です。長崎県島原病院で研修された平山航輔先生は離島枠で上五島病院へ異動になりました。昨年入局した後期研修医の柚川知香先生は佐世保市総合医療センター、高平良太郎先生は長崎労災病院へ、いずれも佐世保への異動となりました。

今年の脳神経外科専門医試験には教室から定方英作先生が昨年のリベンジで、また藤本隆史先生が受験し、無事合格されました。今後のご活躍に期待します。脳神経外科専門医更新は日本専門医機構の更新基準に今後移行します。またサブスペシャリティの細分化により、専門医制度も増えてきています。従いまして、大学、関連施設の密な連携がこれまで以上に

必要となり、教育施設としての役割を果たしていかなければなりません。

またこれまで同門会長として長崎大学脳神経外科同門会を牽引していただいた安永暁生先生が任期満了となり、4月から三宅仁志先生にバトンタッチすることとなりました。お二人の先生方には今後もいろいろと御指導をお願いしたいと思います。安永先生、お疲れさまでした。

最後に、長崎大学においても脳神経外科医不足の現状がまだ続いており、関連病院の先生方にはご迷惑をおかけしております。今後も若い人材の発掘を精力的に行い、また中堅の先生方が大活躍できる場を提供していくことが我々の使命と考えております。今後も一丸となって脳神経外科の魅力を伝えていきたいと思いますので、宜しくご協力の程、お願い申し上げます。

(記 堀江信貴)

## 7. 新入局員紹介



## 7. 新入局員紹介

### 岡村 宗晃



はじめまして、2018年4月より長崎脳神経外科に入局しました岡村宗晃です。出身は長崎県佐世保市です。転勤で各地を転々としたが、高校は佐世保北高等学校を卒業しました。その後、鹿児島大学歯学部を経て、2年半程、歯科医師として歯科医療に従事しました。

今でも忘れられないことですが、私が歯科初期研修1年目の頃、祖母が私の勤務する病院に脳出血で搬送されてきました。私自身、何かできるわけでもなく、ただ見守ることしかできませんでした。このことをきっかけに医師という職業を志すようになりました。

そして歯科医師として働きながら勉強し、長崎大学医学部に学士編入試験で合格することができました。長崎大学医学部卒業後は佐世保市総合医療センターで2年間研修し、その内5ヶ月を脳神経外科で研修させていただきました。救急医療から直達手術、血管内治療、脊髄疾患と幅広く経験でき、そして脳という神秘的な臓器に惹かれ、脳神経外科への入局を決意しました。

4月から長崎大学病院で勤務し、まだ1ヶ月程度ですが、これまでに経験したことのない症例をたくさん経験でき、充実した日々を過ごしております。ただ同期がいないため少しだけ寂しいです。私の場合、少し回り道をした経緯がありますので、一例一例を大切にしたいと思っております。一人前の脳神経外科医として活躍できるよう、日々努力をしておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。そして長崎県の医療に貢献することは勿論、日本、世界へと目を向けていくことができるような脳神経外科医を目指したいと思っております。

## 謝 昂



こんにちは。

私は、中国からの留学生で、名前を「シャ コウ (Xie Ang)」といいます。今年で24歳になります。私の故郷は遼寧省の葫芦島市です。葫芦島市は、ひょうたん型の半島ですので、ひょうたん島と呼ばれています。ひょうたん島には多くの美しい名所があります。その中から私がおすすめる4か所を紹介します。ネットで調べても出てこない穴場ですので、興味があれば詳しい情報を教えますので是非声をかけてください。

私の実家のすぐ近くの、雄大な自然風景区です。悠久の歴史の織り成す地層と静かな水の流れが心癒してくれます (写真①)。

① 龍潭の大渓谷



② 飛天広場



② 葫芦島市は中国最初の宇宙飛行士、楊利偉の故郷としても有名です。2003年の10月15日に酒泉衛生発射センターから神船5号に乗って旅立ちました。彼の栄誉をたたえて、飛天広場が作られ葫芦島市のシンボルとなっています (写真②)。



③ 興城古城



興城を中心とする都市は、明代の初期（128年）に作られ、中国に現存する4か所（ほか、西安、江陵県荊州、山西平遥県）の明代の都市のうちの一つです。写真の鐘鼓楼は154年に建てられ1777年に再修復が行われ、威厳のある姿を今に残しています。

- ④ これはガイドブックにもある有名な場所です。九門口長城で万里の長城の一部をなし、川の上を渡っています。これは世界遺産にも登録されています。遼寧省と河北省の両省の境界にあります。



私は、母の影響で医学に深い興味を持ちました。医師は患者の痛みを治すことができる、患者の家族までも幸せにできる神聖な職業であると考えています。だから私は、大学受験の時にちゅうちょなく医者になる道を選びました。大学では5年間、専門知識を多く学びまし

た。また、臨床実習も経験し、知識とともに臨床能力も鍛えました。

日本の医学レベルは、知識の面でも技術の面でも世界をリードしております。以前より、私の友人から日本の研究が素晴らしいことをたびたび聞いておりました。日本に留学することができれば、多くのすぐれた医学の知識を学び、日本人のきちんとした精神を学ぶことができると信じています。だから、大学を卒業してから、長崎大学の研修生に申し込みました。

長崎大学病院脳神経外科に来てから3か月がたちました。この期間に私は多くの脳神経外科の手術を見ることができました。多くの先進的な論文の内容や、国内では見たことのない知識がたくさんあります。私がわからない問題に出会ったとき、脳神経外科の先生方は、根気強く私のために説明をしてくれます。短い数か月間の付き合いではありますが、私の家族のような温かさで親切さで接してくれています。私はますます脳神経外科に興味を持ち、学びたい気持ちが増しています。

せっかく与えていただいた環境ですので、日本で博士号を取得できればと考えております。長く困難な道だとは思いますが、皆様とともに困難を克服して私の夢に向かって進んでいきたいと思っております。

---

2018年8月発行

2017年度

長崎大学脳神経外科学教室年報

編集兼  
発行  
印刷

特定非営利活動法人長崎脳神経外科研究会  
株式会社 クイックプリント

---

